

# Panasonic

DVCPRO 50

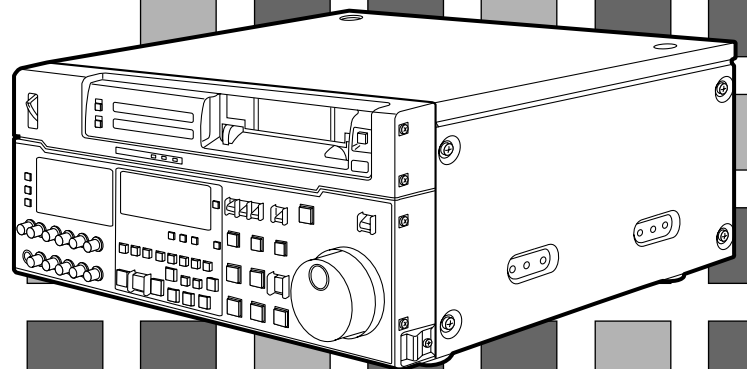
DVCPRO P

Digital Video Cassette Recorder

AJ-D950

AJ-PD950

## 取扱説明書



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

上手に使って上手に節電  
ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

# 目次

---

安全上のご注意	4-7
概要・特長	8-9
各部の名称と機能	
•フロントパネル	10-17
•フロントパネル下部	18-19
•コネクタ部	20-22
接続	
•1台での接続	23
•2台での接続例	24
•編集コントローラとの接続例	25
•ビデオ出力信号(エンコーダー出力)の調整のための接続	26
テープ	27
電源投入/カセット挿入	28
STOP/STANDBYモード	29
記録	30
再生	31
ジョグ/シャトル	32
手動編集	33
プリロール	34
自動編集	35
•スイッチの設定と調整	36
•編集モードの選択	37
•編集点の登録	38
•編集点の確認	39
•編集点の訂正	40
•プレビュー	41
•自動編集の実行	42
•レビュー	43
•スプリット編集	44
•オーディオスプリット編集	45
ビデオ出力信号(エンコーダー出力)の調整	47

## 保証書別添付

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

著作権(録画テープの取扱い)

あなたがビデオで録画したテープは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

# 目次

---

セットアップ(初期設定) . . . . .	48
セットアップメニュー . . . . .	49
•SYSTEM . . . . .	50
•BASIC . . . . .	51
•OPERATION . . . . .	53
•INTERFACE . . . . .	55
•EDIT . . . . .	56
•TAPE PROTECT . . . . .	58
•TIME CODE . . . . .	59
•VIDEO . . . . .	61
•AUDIO . . . . .	63
•AJ-PD950 USERメニュー . . . . .	65
タイムコード/ユーザービットについて . . . . .	66
•内部/外部タイムコードの記録 . . . . .	67
•タイムコード/ユーザービットの再生 . . . . .	68
スーパーインポーズ画面 . . . . .	69
サーボリファレンス . . . . .	70-71
音声Vフェード機能 . . . . .	72
音声の記録チャンネルとモニター出力の選択 . . . . .	73
回路板 . . . . .	74
ラックマウント . . . . .	75
ビデオヘッドクリーニング . . . . .	76
結露 . . . . .	76
エラーメッセージ . . . . .	77-78
エラーメッセージ(AUTO OFF ランプ点灯) . . . . .	79-80
RS-232Cインターフェース . . . . .	81-87
コネクタの信号 . . . . .	88-89
定格 . . . . .	90-91

---

本機をご使用になる前に、付属品が入っていることをお確かめください。

電源コード 1pc.

## オプション



- ラックマウントアダプタ AJ-MA75P
- アナログ入出力インターフェースキット AJ-YA950、AJ-YA952

# 安全上のご注意




必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。




	<b>警告</b>	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 設置について

# 警告

<p>不安定な場所に置かない！</p>  <p>落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源コード上に重い物を乗せない！</p>  <p>本機の下敷にならないよう注意してください。</p> <p>禁止</p> <p>コードが傷ついて、火災・感電をおこすおそれがあります。</p>	<p>水場に設置しない！</p>  <p>火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>
--	---	--

# 安全上のご注意

必ずお守りください。

## 異常時の処理について

## 警告

本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電をおこすおそれがあります。

本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電をおこすおそれがあります。

本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると感電・事故をおこすおそれがあります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

煙が出ている、変なおいや音がする等の異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

## 使用方法について

本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！



禁止

こぼれて、本機内部に入ると、故障や事故をおこすおそれがあります。

機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！



禁止

火災・感電の原因となります。

本機を改造しない！



分解禁止

火災・感電の原因となります。

水場で使用しない！



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

本機の裏フタ・キャビネット・カバー等をはずさない！



分解禁止

感電の原因となります。点検・整備・修理は販売店にご相談ください。

機器がぬれたり、水が入らないようにする！






禁止

火災・感電をおこすおそれがあります。雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。









## 警告

### 使用方法について

<p>電源コードを</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 加工しない!</li><li>● 傷つけない!</li><li>● 無理に曲げない!</li><li>● ねじらない!</li><li>● 引っ張らない!</li><li>● 加熱しない!</li></ul> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>表示された電源電圧以外は使用しない!</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>指定のカバー以外ははずさない!</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p> <p>点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。</p>
--	--	--

## 注意

### 設置について

<p>電源コードを熱器具に近づけない!</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>油煙や湯気が当たる場所に置かない!</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>湿気やほこりの多い場所に置かない!</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>ぬれた手でプラグを抜き差ししない!</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らない!</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p> <p>禁止</p>	<p>本機の通風孔をふさがない!</p> <p> 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p> <p>次のような使い方はしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 本機を風通しの悪い所に押し込む。</li><li>● テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。</li></ul>
<p>電源コードや接続コードを下にたらしさない!</p> <p> ふれたり、引っかかたりすると、落ちてけがをするおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>持ち上げや移動には十分注意する!</p> <p> 落としたりすると、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p> <p>10kg以上の機器は、2人以上で持ち上げるなど慎重に取り扱ってください。</p>	

## 注意

### お手入れについて

お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

1年に1度くらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

### 使用方法について

本機の上に重い物を置かない！



バランスがくずれて、落下して、けがの原因になります。

禁止

本機に乗らない！



倒れたり、こわれたりしてけがの原因になります。

禁止

カセットテープ挿入口に手をはさまれないように注意する！



けがの原因となります。

指に注意

長時間使用しない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！



火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードをはずす！



電源プラグを抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。  
● ビデオカセットは、取り出しておいてください。

# 概要

本機は、1/4インチ幅の小型カセットテープを使用し、インターレース信号(525i/625i、記録レート50Mbps)とプログレッシブ信号(525p)\*の記録・再生・編集ができ、既存のDVCPRO(25Mbps)の記録・再生が可能なマルチパスのスタジオデジタルVTRです。ワールドワイド対応のスタジオVTRとして、525/625スイッチャブル機能になっています。デジタル圧縮技術を採用した高画質VTRで、ダビング時の画質・音声の劣化が大幅に少なくなっています。

また、本機は4Uサイズの小型・軽量設計になっていますので持ち運びにも負担が軽く、19インチのラックに設置する時にも楽に行えます。

機器のセットアップのための各設定はモニターテレビの画面メニューを見ながら対話方式で行い、編集機能として、アSEMBル・インサートの両編集が行えます。

(本機をDVCPRO(25 Mbps)モードで使用する場合は、編集機能が動作しません。)

## 特長

### 小型・軽量

本機は4UサイズのデジタルVTRです。ラックマウントアダプタ(オプション、AJ-MA75P)を使用すれば19インチラックにも手軽に取りつけることができます。

### 最大92分記録

使用するカセットテープは、Mカセット(最大33分用)とLカセット(最大92分用)です。テープ幅は1/4インチのコンパクト設計になっています。

### 高画質

既存DVCPROの2倍の記録レートを持った4:2:2コンポーネント信号と4:2:0pプログレッシブ信号\*記録により高画質を実現しています。

### 525i/625i/525p\*スイッチャブル

映像入力信号(525i/625i/525p\*)に合わせたスイッチ切換えを行うことにより、それぞれの信号を記録・再生することができます。

### SDIインターフェース

4:2:2/4:2:0p\*シリアルデジタルインターフェースを標準装備しています。

### DVCPROとの互換再生

既存のDVCPROでの記録および記録されたテープを本機で再生することができます。

### デジタルスローモーション/ダイヤルジョグ

パナソニック独自のデジタルスロー技術により、以下の速度のスロー再生画像は、クリアな再生が行えます。

- 0.43 / - 0.3 / - 0.2 / - 0.1 / - 0.03 / + 0.03 / + 0.1 / + 0.2 / + 0.3 / + 0.5 / + 0.75

< ノート >

スローモーションのスピードを変えた時には多少のノイズが発生することがあります。

### ダイヤルシャトル

シャトル操作は、正・逆方向に最大32倍速までカラー画像で再生が可能です。

### タイムコード

本機はTCG(タイムコードジェネレータ)/TCR(タイムコードリーダー)を内蔵しています。

タイムコードは内部タイムコードの他に、外部タイムコード入力または入力信号のVITCを、LTCとして本機に記録することが可能です。

\*マークの箇所はAJ-PD950のみに適用されます。



---

## 特長（つづき）

### 多機能なインターフェース

- シリアルデジタル入出力

コンポーネントシリアルインターフェースを標準装備しており、シリアルデジタルでのプログレッシブ信号\*およびコンポーネント信号でのインターフェースが行えます。(SMPTE 259M-C、272M、294M\*)

- アナログビデオ入出力

コンポジット出力は標準装備です。

アナログ入出力インターフェースボードキット(オプション)を使用しますとコンポーネント(Y、P<sub>B</sub>、P<sub>R</sub>)の入出力インターフェースとコンポジット入力インターフェースが行えます。

- AES/EBUオーディオ入出力

デジタルオーディオ入出力端子を装備しています。

- SDTI入出力

- 9ピンRS-422A/RS-232Cリモート

標準的な9ピンシリアルリモート(RS-422A)の他、RS-232Cおよび25ピンパラレルのリモート端子を装備しています。

RS-422Aは本機と別のVTRをループ接続すれば並列運転ができます。

### 4チャンネルの高音質デジタルオーディオ

4チャンネルのPCMオーディオを持ち、4チャンネルは独立して編集ができるほか、チャンネルミックスが可能です。アナログキュートラックも1チャンネル装備しています。

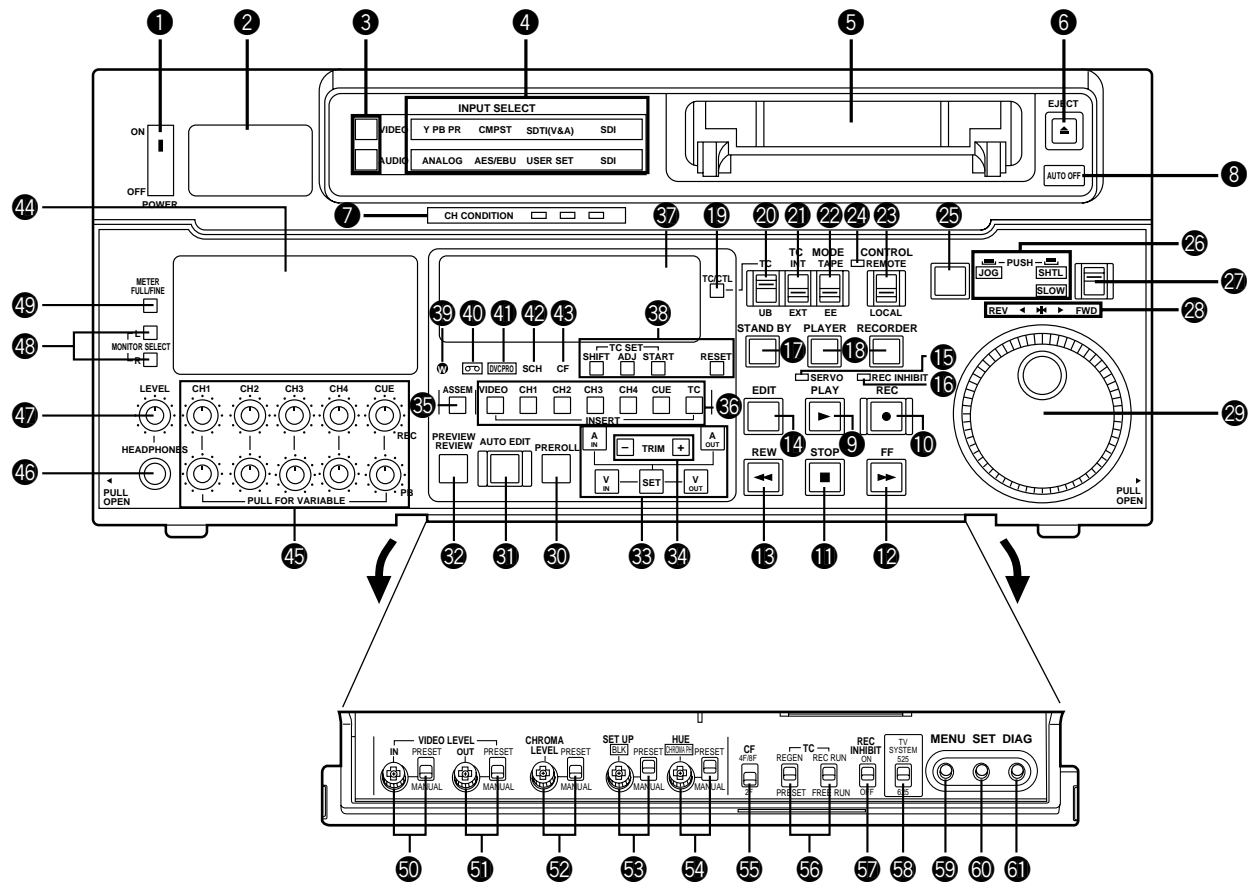
### メニュー方式のセットアップ

本機を操作する前に行うセットアップの各設定は、本機のディスプレイまたはモニターテレビのセットアップメニューを見ながら行います。

\* マークの箇所はAJ-PD950  
のみに適用されます。

# 各部の名称と機能

## フロントパネル



## フロントパネル上部

- ① POWER スイッチ
- ② TVシステム/フォーマット表示部  
 選択されたTVシステムとフォーマットが表示されます。  
 < 525/525P\*/625 >  
 525 : 525インターレースのTVシステムが選択されると点灯します。  
 525P\* : 525プログレッシブのTVシステムが選択あるいは再生中に点灯します。  
 ( 525Pの選択は、セットアップメニューNo.012( SYSTEM FORMAT )で行います。 )  
 625 : 625インターレースのTVシステムが選択されると点灯します。  
 < 25Mbps/50Mbps >  
 25Mbps : DVCPRX( 25Mbpsフォーマット )の記録および再生モードを示します。  
 50Mbps : DVCPRX( 50Mbpsフォーマット )の記録および再生モードを示します。

## フロントパネル上部

### ③ INPUT SELECTスイッチ

ビデオとオーディオの入力信号を切換えます。

<ビデオ>

VIDEOボタンを押すごとに、入力ビデオ信号が、Y/PB/PR、COMPOSITE、SDT(V&A)、SDI、Y/PB/PR、・・・の順に切換わり、選択されます。SDT(V&A)を選択するとビデオとオーディオの両方がSDTIからの入力になります。

<オーディオ>

AUDIOボタンを押すごとに、入力オーディオ信号が、ANALOG、AES/EBU、USER SET、SDI、ANALOG、・・・の順に切換わり、選択されます。USER SETは、PCMオーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4に記録する入力信号を個別に記録する機能で、セットアップメニューと併用して使用します。ただし、ビデオ入力でSDTIが選択された時は、オーディオ入力も強制SDTI入力になります。例えば、INPUT SELECTでUSER SETを選択し、セットアップメニューNo.715でCH1=ANALOG、No.716でCH2=DIGITALさらにNo.719でCH2=AES、No.717でCH3=DIGITALさらにNo.720でCH3=SIF、No.718でCH4=ANALOGを選択すれば、テープ上に記録されるPCMオーディオ信号CH1にはアナログ入力信号が、CH2にはAES/EBUデジタル信号、CH3にはSDI入力のデジタル信号が、CH4にはアナログ入力信号が記録されます。

### ④ INPUT SELECT表示部

選択された入力信号に対応する文字部が点灯します。

アナログオーディオを除き、選択された入力信号がない場合は点滅してお知らせします。

<ビデオ>

Y PB PR : アナログ・コンポーネント・ビデオ信号(オプション)

CMPST : アナログ・コンポジット・ビデオ信号(オプション)

SDTI (V&A) : 圧縮データ・シリアル・デジタル・ビデオ/オーディオ信号(オプション)

SDI : シリアル・デジタル・ビデオ信号(SMPTE 259M-C、272M、294M\*)

(セットアップメニューNo.600(INT SG)で内蔵の信号発生を選択した場合は表示部が全て点灯します。)

<オーディオ>

ANALOG : アナログ・オーディオ信号

AES/EBU : デジタル・オーディオ信号

USER SET : 記録オーディオ信号の選択

SDI : シリアル・デジタル・オーディオ信号

(セットアップメニューNo.700(INT SG)で内蔵の信号発生を選択した場合は表示部が全て点灯します。)

### ⑤ カセット挿入口

### ⑥ EJECT ボタン

押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットを排出します。

カウンタ表示部がCTL表示の時は、表示がリセットされます。

### ⑦ チャンネルコンディション・ランプ

エラーレートの状態に応じて点灯します。(緑 アンバー 赤)

緑 : ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好な時に点灯します。

アンバー : ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化した時に点灯します。  
このランプが点灯しても、再生画は正常です。

赤 : ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった時に点灯します。

### ⑧ AUTO OFFランプ

本機の動作に異常が発生した時に点灯します。

\* マークの箇所はAJ-PD950  
のみに適用されます。

---

## フロントパネル中央

- ⑨ PLAYボタン  
押すと再生が始まります。  
RECボタンと同時に押すと記録が、PLAY中にEDITボタンと同時に押すと手動編集が始まります。ただし、サーボがロックしていない時は手動編集には入りません。  
手動編集中にPLAYボタンだけを押し、編集はカットアウトされ、再生モードになります。
- ⑩ RECボタン  
このボタンとPLAYボタンを同時に押し、記録が始まります。  
再生、サーチ、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押し、押ししている間、E-Eモードの画像と音声信号をモニターすることができます。  
ストップモード中にこのボタンを押し、E-Eモードの画像と音声をモニターできます。  
STOPボタンを押し、元の画像・音声にもどります。
- ⑪ STOPボタン  
押すとテープ走行が停止し、TAPE/EE切換スイッチが「TAPE」の時には静止画をモニターすることができます。  
ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。  
ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイOFFモードになります。  
本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。
- ⑫ FFボタン\*<sup>2</sup>  
押すと、テープを早送りします。
- ⑬ REWボタン\*<sup>2</sup>  
押すと、テープを巻き戻します。
- ⑭ EDITボタン  
手動編集をする時、PLAY中にこのボタンとPLAYボタンとを同時に押し、ストップモード中にこのボタンを押し、ASSEMBLEボタンまたはINSERTボタンで選んだモードの入力信号をE-Eモードでモニターすることができます。  
STOPボタンを押し、元の画像・音声にもどります。  
再生、サーチ\*<sup>1</sup>、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押し、押ししている間、ASSEMBLEボタンまたはINSERTボタンで選んだモードの入力信号をE-Eモードでモニターすることができます。
- ⑮ SERVOランプ  
ドラムサーボおよびキャプスタンサーボがロックすると点灯します。
- ⑯ REC INHIBITランプ  
フロント下部のREC INHIBITスイッチが「ON」か、カセットが誤消去防止状態になっている時に点灯します。  
この時には、記録および編集はできません。

\*<sup>1</sup> サーチモードでのオーディオの再生音は保障できません。

\*<sup>2</sup> 早送り、巻き戻しの速度は、セットアップメニューNo.102(FF, REW MAX)で選択ができます。

---

---

## フロントパネル中央

- ⑰ STAND BYボタン  
通常のSTOP時と同じテープテンションがかかり、ヘッドドラムが回転中はボタンが点灯してスタンバイONモードであることを示します。  
スタンバイOFFモードの時は、ハーフロード・モードになります。ストップ・モード中にこのボタンを押すとスタンバイOFFモードになり、ハーフロードモードになります。この時、ボタンは消灯します。  
また、ストップ・モードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイOFFモードになります。  
スタンバイOFFモードの時にこのボタンを押すか、またはSTOPボタンを押すと、スタンバイONモードになります。  
また、STOPボタン以外のボタンを押すと、押したボタンのモードになります。  
スタンバイOFFモードへの移行時間はオンスクリーン上で設定できます。
- ⑱ PLAYER/RECORDERボタン  
本機とRS-422Aシリアルインターフェースのリモコン端子( 9ピン )を装備したVTRを使って編集する時、本機をレコーダとして使う場合に操作します。本機を単体で使用する時はどちらのボタンも機能しません。  
PLAYERボタン : 押すとランプが点灯し、本機に接続したプレーヤをリモートコントロールするようになります。本機の編集、テープ走行系のボタンはプレーヤに対して働きます。  
RECORDER ボタン : 押すとランプが点灯し、編集テープ走行系のボタンはレコーダ( 本機 )に対して働くようになります。  
また、セットアップメニューNo.200( PARA RUN )で「ENA」を選択した状態で、PLAYERボタンまたはRECORDERボタンを押すことにより、両方のランプが点灯し、本機がパララン( 平行ラン )操作時のマスター機となります。[ ただし、本設定時にはREMOTE端子( 9ピン )からの外部コントロールはできなくなります。 ]
- ⑲ TC/CTLスイッチ  
このスイッチを押すことにより、カウンタ表示部の表示がTC CTL TC・・・と変化します。また、TC選択時には、TC/UBスイッチの選択に応じて、TCもしくはUBの値を表示します。
- ⑳ TC/UBスイッチ  
TC/CTLスイッチがTCの時に、カウンタ表示部にTCの値を表示するか、UBの値を表示するかを選択スイッチです。
- ㉑ INT/EXTスイッチ  
INT : 内蔵タイムコード・ジェネレータを使用します。  
EXT : タイムコード入力端子もしくは映像信号のVITCより入力する外部タイムコードを使用します。選択はセットアップメニューNo.505( EXT TC SEL )で設定します。
- ㉒ TAPE/EEスイッチ  
< STOP時 >  
TAPE : テープから再生される信号を出力します。  
EE : INPUT SELECTスイッチで選択された入力信号を出力します。  
< 記録/編集\*時 >  
TAPE : 同時再生信号を出力します。  
EE : INPUT SELECTスイッチで選択された入力信号を出力します。  
\*セットアップメニューNo. 310( CONF EDIT )の設定が必要です。

---

## フロントパネル中央

- ⑳ REMOTE/LOCALスイッチ  
REMOTE、RS-232C、パラレルの各端子を使って、外部から本機をコントロールする時に切換えます。  
REMOTE : 9ピンのREMOTE もしくはRS-232C、パラレルリモート端子を使って接続した機器で本機をコントロールする時、この位置にします。  
LOCAL : 本機の操作パネルで本機をコントロールする時にこの位置にします。
- ㉑ REMOTEランプ  
REMOTE/LOCALスイッチで、REMOTE側を選択した時に点灯します。
- ㉒ サーチボタン  
押すとサーチモードになります。  
サーチダイヤルをシャトルモードにして任意の位置に回しておき、このボタンを押すと、サーチダイヤルで設定した速度の再生が始まります。
- ㉓ JOG/SHTL/SLOWランプ  
サーチダイヤルとSHTL/SLOWスイッチの現在の状態を表示します。  
JOG(ジョグ) : JOGモード時に点灯します。  
SHTL(シャトル) : SHTLモード時に点灯します。  
SLOW(スロー) : VARモード時に点灯します。
- ㉔ SHTL/SLOW スイッチ  
サーチダイヤルをSHTL用、もしくはVAR用として用いる時の選択スイッチです。
- ㉕ REV/STILL/FWDランプ  
サーチダイヤルの動作に応じて点灯します。  
REV : ダイアルを左に回すと点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープがREV方向に走行します。  
STILL : JOGモード時には、ダイヤルの回転が停止した時に点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープ走行も停止します。  
SHTLモード時には、ダイヤルがスチル位置にある時に点灯します。  
FWD : ダイアルを右に回すと点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープがFWD方向に走行します。
- ㉖ サーチダイヤル  
編集点を探すためのダイヤルです。  
ダイヤルは一度押すごとにシャトルモードとジョグモードが交互に切替わり、JOG/SHTL/SLOWランプのいずれかが点灯します。  
POWER ON時は、一度ダイヤルがSTILL位置に戻らないと動作しません。  
SHTLモード : SHTL/SLOWスイッチがSHTLの時、ダイヤルを回し、任意の位置で止め(シャトル)ると、その回転角度位置に対応した速度で再生できます。中央位置で静止画になります。  
SHTL/SLOW スイッチがSLOWの時には、ダイヤルを左一杯に回すと - 4.1倍速、中央位置で静止画、右一杯にまわすと+4.1倍速になります。SLOWの速度はセットアップメニューNo. 300(VAR RANGE)で選択できます。  
JOGモード : ダイアルをクリックがなくなり、ダイヤルの回転速度に応じた速度(-0.43倍速~+1倍速)で再生します。

---

## フロントパネル中央

- ③⑩ PREROLL ボタン  
送出や手動編集の頭出しに使用します。  
押すとテープがプリロール点まで走行して止まります。  
プリロール時間は、セットアップメニューNo.000(P-ROLL TIME)で設定できます。  
INまたはOUTボタンと同時に押すと、その登録点にキューアップすることができます。  
IN点が登録されていない時に押すと、押した点をIN点として自動登録します。(ただしセットアップメニューNo.313(AUTO ENTRY)を「ENA」にした場合)
- ③⑪ AUTO EDIT ボタン  
編集点を登録した後にこのボタンを押すと、自動編集を実行します。  
IN点が登録されていない時に押すと、押した点をIN点として自動編集を実行します。
- ③⑫ PREVIEW/REVIEWボタン  
PREVIEW : 編集点を登録した後にこのボタンを押すとテープが走行し、編集は実行せずにプレビューができます。  
IN点が登録されていない時にこのボタンを押すと、押した点をIN点として登録し、プレビューを実行します。  
REVIEW : 1区間の編集実行後にこのボタンを押すと、今編集した区間を再生し、レコーダ側のモニターで見ることができます。
- ③⑬ IN(A IN)/SET/OUT(A OUT)ボタン  
SETボタンと同時に押し、IN(A IN)/OUT(A OUT)点を登録します。  
A IN/A OUTは、オーディオスプリット編集を行う時、ビデオと異なるオーディオのIN/OUT点を登録するために使用します。  
IN(A IN)/OUT(A OUT)点が登録されている時には、登録されているIN(A IN)ボタン、もしくはOUT(A OUT)ボタンが点灯します。  
登録した後にこれらのボタンを押すと、IN(A IN)/OUT(A OUT)点の値がカウンタ表示部に表示されます。  
IN(A IN)/OUT(A OUT)ボタンとRESETボタンを同時に押すと、IN(A IN)/OUT(A OUT)点の登録が削除できます。
- ③⑭ TRIMボタン  
IN/OUT点の微修正用のボタンです。  
INボタンまたはOUTボタンを押しながら、+または-ボタンを押すと、登録した編集点を1フレーム単位で修正できます。+ボタンを押すと1フレーム進み、-ボタンを押すと1フレーム戻ります。
- ③⑮ ASSEMBLEボタン  
アSEMBル編集をする時に押します。  
ボタンは自照式で、一度押すとON(点灯)、もう一度押すとOFF(消灯)になります。
- ③⑯ INSERTボタン  
インサート編集をする時、5つのボタンのうち希望のボタンを押して編集する入力信号を選択します。ボタンは自照式で、一度押すとON(点灯)、もう一度押すとOFF(消灯)になります。
- ③⑰ カウンタ表示部  
TC、CTLのカウント値や、オンスクリーン情報等の各種メッセージを表示します。



---

---

## フロントパネル中央

### ③⑧ タイムコードボタン

TC/UBの値を設定する時に使用します。

SHIFT : TCやUBの値を設定する時には、まずこのボタンを押してデータの歩進を止めます。表示が点滅している桁を変更します。

一度押すたびに表示の点滅が一桁ずつ右に移動し、一番右桁までいくと一番左の桁までもどります。

押し続けると、次々に移動します。

ADJ : 表示が点滅している桁の数字を変更します。

一度押すたびに数値が1つずつ増加し、押し続けると次々に増加します。

START : SHIFT/ADJで変更されたデータを確定します。

またTC、UBの設定をしていない時に押すと、TCGまたはUBGの設定値を確認できます。

RESET : CTLモード時は、ボタンを押すと表示が[ 00:00:00:00 ]になります。

また、CTLモード時には、登録されている編集点は消去されます。

TC/UBモード時は、SHIFTボタンとの同時押しで、ジェネレータをリセットします。

### ③⑨ ワーニングランプ

ワーニング項目がある時に点灯します。

### ④⑩ カセット挿入表示ランプ

本機にカセットが挿入されている時に、このランプが点灯します。

### ④⑪ DVCPROフォーマット( 25Mbps )カセット再生表示ランプ

DVCPROフォーマット( 25Mbps )で記録されたカセットが再生されている時に点灯します。

### ④⑫ SCH ランプ

外部同期信号のSCH位相が、一定の範囲内にある時に点灯します。

### ④⑬ CFランプ

カラーフレーミングがロックしている時に点灯します。

### ④⑭ レベルメーター

PCMオーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4と、CUEトラック信号およびビデオ信号\*の各レベルを表示します。

オーディオ信号は、記録時およびE-E選択時には入力信号のレベルを、再生時には出力信号の各レベルを表示します。

ビデオ信号は、入力信号レベルのみ表示します。

\*CUEトラック信号またはビデオ信号は、セットアップメニューNo. 005( METER SEL )で選択します。

### ④⑮ オーディオ入出力レベルの調整ボリューム

PCMオーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4と、CUEトラック信号の各記録および再生レベルを調整するボリュームです。

上段に配置されている各ボリュームが記録レベルの調整用ボリュームです。

下段に配置されている各ボリュームが再生レベルの調整用ボリュームです。

各ボリュームは“ PULL FOR VARIABLE ”形式で、ボリュームを引き上げた時に初めて調整が可能です。ボリュームを押し下げた時には、各信号レベルがユニティ値( 初期値 )になります。



---

---

## フロントパネル中央

- ④6 ヘッドホンジャック  
ステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生/編集中の音声を、ヘッドホンでモニターできます。
- ④7 音量調整ボリューム  
ヘッドホンの音量およびモニター出力の音量を調整するボリュームです。  
ヘッドホン出力とモニター出力の音量を連動させるか、分離させるかは、セットアップメニューNo.713(MONI OUT)で選択できます。(ただしヘッドホンは常に連動しています。)分離させた時には、モニター出力はユニティ値(初期値)になります。
- ④8 MONITOR SELECTスイッチ  
モニターL/Rに出力する音声信号を切換えるためのスイッチです。  
「L」ボタンを押すたびに、モニターLに出力する信号をCH1、CH2、CH3、CH4、CUE、CH1、・・・と切換えます。  
(セットアップメニューNo.729(MONITOR MIX L)でCH1+2またはCH3+4を選択した場合は、切換えはできなくなります。)  
また、「R」ボタンを押すたびに、モニターRに出力する信号をCH1、CH2、CH3、CH4、CUE、CH1、・・・と切換えます。  
(セットアップメニューNo.730(MONITOR MIX R)でCH1+2またはCH3+4を選択した場合は、切換えはできなくなります。)  
今、どの信号を選択しているかの表示は、レベルメーター表示部のL/Rのランプの点灯で示しています。(セットアップメニューNo.721(MONI CH SEL)がAUTOの時は、モニター出力に合わせて表示が切換わります。)
- ④9 METER(FULL/FINE)切換スイッチ  
オーディオレベルメーターのスケール表示(目盛)を切換えるボタンです。  
FULLモード : 標準目盛りになります。( - ~ 0 dBの範囲)  
FINEモード : 0.5 dBごとのスケールになります。



## フロントパネル下部

### 56 TCジェネレータスイッチ

REGEN : REGEN/PRESETスイッチを「REGEN」にした時は、タイムコードリーダーがテープから読んだタイムコードに内蔵タイムコードジェネレータが同期します。TC/UBのどれをREGENにするかはセットアップメニューNo. 503(TCG REGEN)で選択します。

PRESET : REGEN/PRESETスイッチを「PRESET」にした時は、操作パネルまたはリモートコントロールでプリセットが可能になります。

REC RUN : RUN MODEスイッチを「REC」にした時には、記録中だけタイムコードが歩進します。上記のREGEN/PRESETが「REGEN」の時、常時タイムコードは歩進します。

FREE RUN : RUN MODEスイッチを「FREE」にした時は、電源が投入されている間、動作モードに関係なくタイムコードが歩進します。

### 57 REC INHIBITスイッチ

カセットテープへの記録の禁止/許可を選択します。

ON : カセットテープへの記録を禁止します。

この時、フロントパネル上のREC INHIBITランプが点灯します。

OFF : カセットテープの誤消去防止機構が記録可能の時にカセットテープへの記録が可能です。

### 58 TV SYSTEM選択スイッチ

このスイッチによりテレビジョンシステムの選択ができます。

このスイッチの設定は再度電源を投入した時に有効になります。

525 : 525インターレース/59.94Hzのテレビジョン方式の選択になります。

525プログレッシブ方式の選択\*は、セットアップメニューNo.012(SYSTEM FORMAT)により行います。

625 : 625インターレース/50Hzのテレビジョン方式の選択になります。

記録時は、525i/525p\*/625i選択に合致した信号を入力してください。

再生時は、525i/525p\*/625i選択に合致したテープを再生してください。

### 59 MENUボタン

このスイッチを押すと、モニターテレビにはセットアップメニューを(ただし、VIDEO OUT 3端子を使用している時)、本機の表示部にはセットアップメニュー番号を表示します。再度押すと、セットアップメニュー設定から抜けだし、もとに戻ります。

### 60 SETボタン

このスイッチを押すと、セットアップメニューで設定したデータを確定します。

データ確定後は、セットアップメニュー設定から抜けだし、もとに戻ります。

### 61 DIAGボタン

このボタンを押すとVTRの情報を表示します。

再度ボタンを押すと元の表示に戻ります。

VTRの情報には「HOURS METER」情報と「WARNING」情報があります。

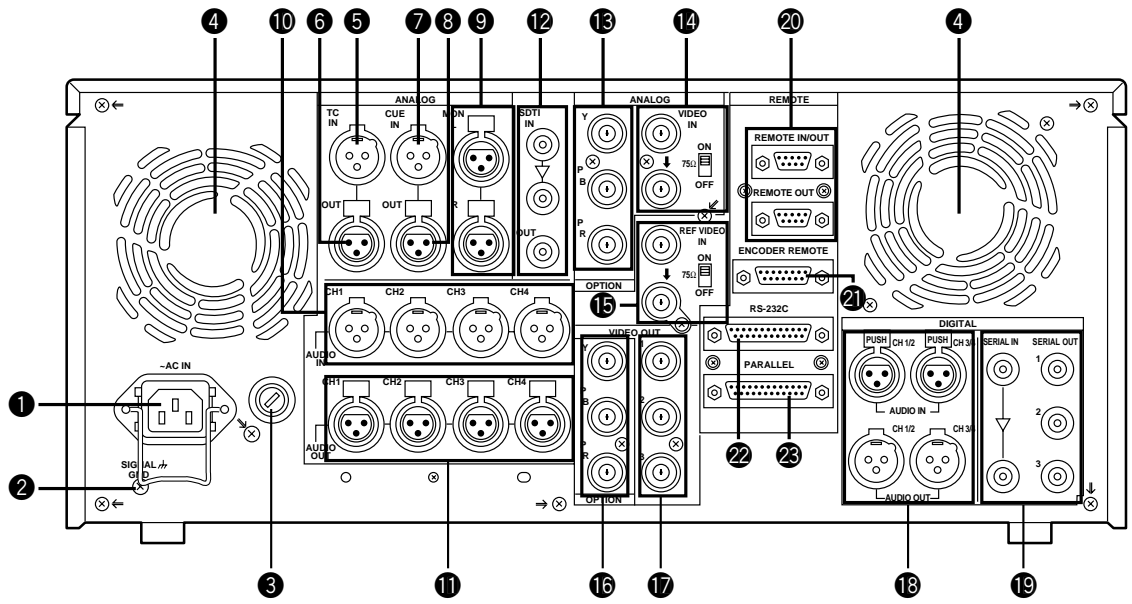
これらの情報の表示切換えは、サーチボタンを押すことによって行います。

「HOURS METER」画面では通電時間、ドラムの回転時間、テープ走行時間、ローディング回数・電源の切回数等を表示します。

「WARNING」画面ではワーニングの内容を表示します。

\* マークの箇所はAJ-PD950  
のみに適用されます。

# コネクタ部



---

## コネクタ部

- ① AC IN コネクタ  
付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。
- ② SIGNAL GND 端子  
ノイズ軽減のため、接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。
- ③ ヒューズホルダ  
5Aのヒューズが入っています。
- ④ ファンモータ  
本機の冷却用のファンモータです。  
ファンモータがなんらかの異常で停止した時には、**W**ランプが点灯します。  
ワーニングの状態でも継続して動作させると、デッキ内部の温度が上昇し、安全温度を越した時にはすべての動作を停止させます。
- ⑤ TIME CODE IN端子  
外部タイムコードを、テープ上に記録するための端子です。
- ⑥ TIME CODE OUT端子  
再生時は再生タイムコードを出力します。  
記録時は、内蔵タイムコード・ジェネレータの発生するタイムコードを出力します。
- ⑦ CUE IN端子  
CUEトラックに記録するアナログ信号を入力する端子です。  
セットアップメニューNo.705(CUE IN LV)で - 60dB入力モードを選択することにより、マイクからの音声信号の記録もできます。
- ⑧ CUE OUT端子  
CUEトラックに記録されたアナログ信号を出力します。
- ⑨ MONITOR OUT端子  
再生時には、PCMオーディオ信号CH1/CH2/CH3/CH4、もしくはCUEトラックからの再生信号を出力します。
- ⑩ ANALOG AUDIO IN端子  
アナログオーディオの入力端子です。
- ⑪ ANALOG AUDIO OUT端子  
アナログ・オーディオ信号を出力します。
- ⑫ SDTI IN/OUT端子(オプション)
- ⑬ ANALOG COMPONENT VIDEO IN端子(オプション)  
アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を入力します。
- ⑭ ANALOG COMPOSITE VIDEO IN端子と75 終端スイッチ(オプション)  
アナログ・コンポジット・ビデオ信号を入力します。  
2つの入力端子は、ループスルーでつながっています。  
終端する場合には、スイッチを「ON」にします。

---

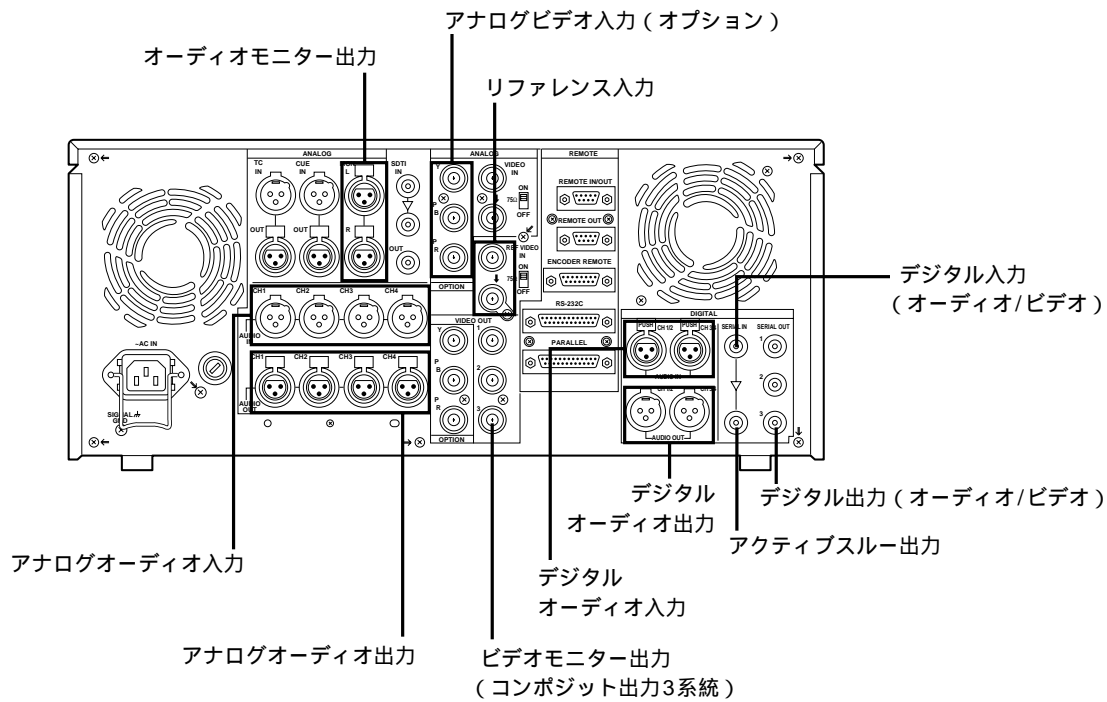
## コネクタ部

- ⑮ REF VIDEO IN端子と75 終端スイッチ  
リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。  
カラーバースト付きの信号を入力してください。  
終端する場合には、スイッチを「ON」にします。
- ⑯ ANALOG COMPONENT VIDEO OUT端子(オプション)  
アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を出力します。
- ⑰ ANALOG COMPOSITE VIDEO OUT端子  
アナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。  
VIDEO OUT 3の端子はスーパーを重畳したビデオ信号の出力ができます。  
スーパーのON/OFFはセットアップメニューNo. 007( SUPER)で選択します。
- ⑱ DIGITAL AUDIO IN/OUT端子  
AES/EBU規格に準拠した、デジタル・オーディオ信号の入出力端子です。
- ⑲ SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT端子  
SMPTE259M-C、272M、294M\*規格に準拠した、デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の入出力端子です。
- ⑳ リモートコントロール端子  
本機を2台使って、あるいは本機と外部コントローラとを接続して、外部から本機を操作することができます。  
リモートコントロール端子は、IN/OUT用とOUT用との2つがあります。  
IN/OUT : 外部コントローラと接続  
          デッキ対デッキ操作時に接続  
OUT      : パララン操作時に接続  
          ループスルーとして使用
- ㉑ ENCODER REMOTE端子  
ビデオ出力信号の各設定を外部から調整する時に、外部のエンコーダリモートコントローラを接続します。
- ㉒ RS-232C端子
- ㉓ PARALLEL REMOTE端子  
本機を外部から操作する時に使用します。

\* マークの箇所はAJ-PD950  
のみに適用されます。

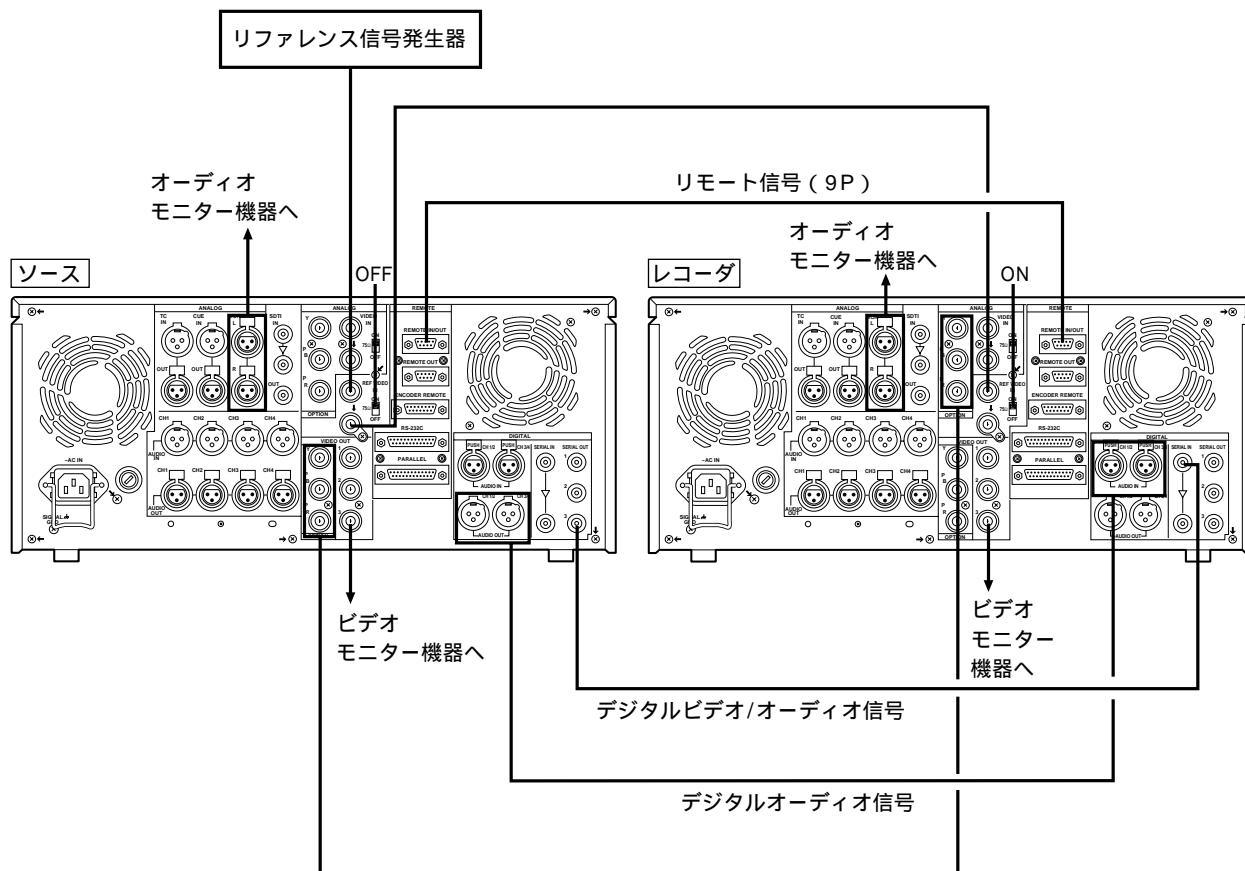
# 1 台での接続

フロントパネルのCONTROLスイッチを「LOCAL」にします。



## 2 台での接続例 (デッキ対デッキ)

- ソース側      • フロントパネルのCONTROLスイッチを「REMOTE」にします。  
レコーダ側    • フロントパネルのCONTROLスイッチを「LOCAL」にします。

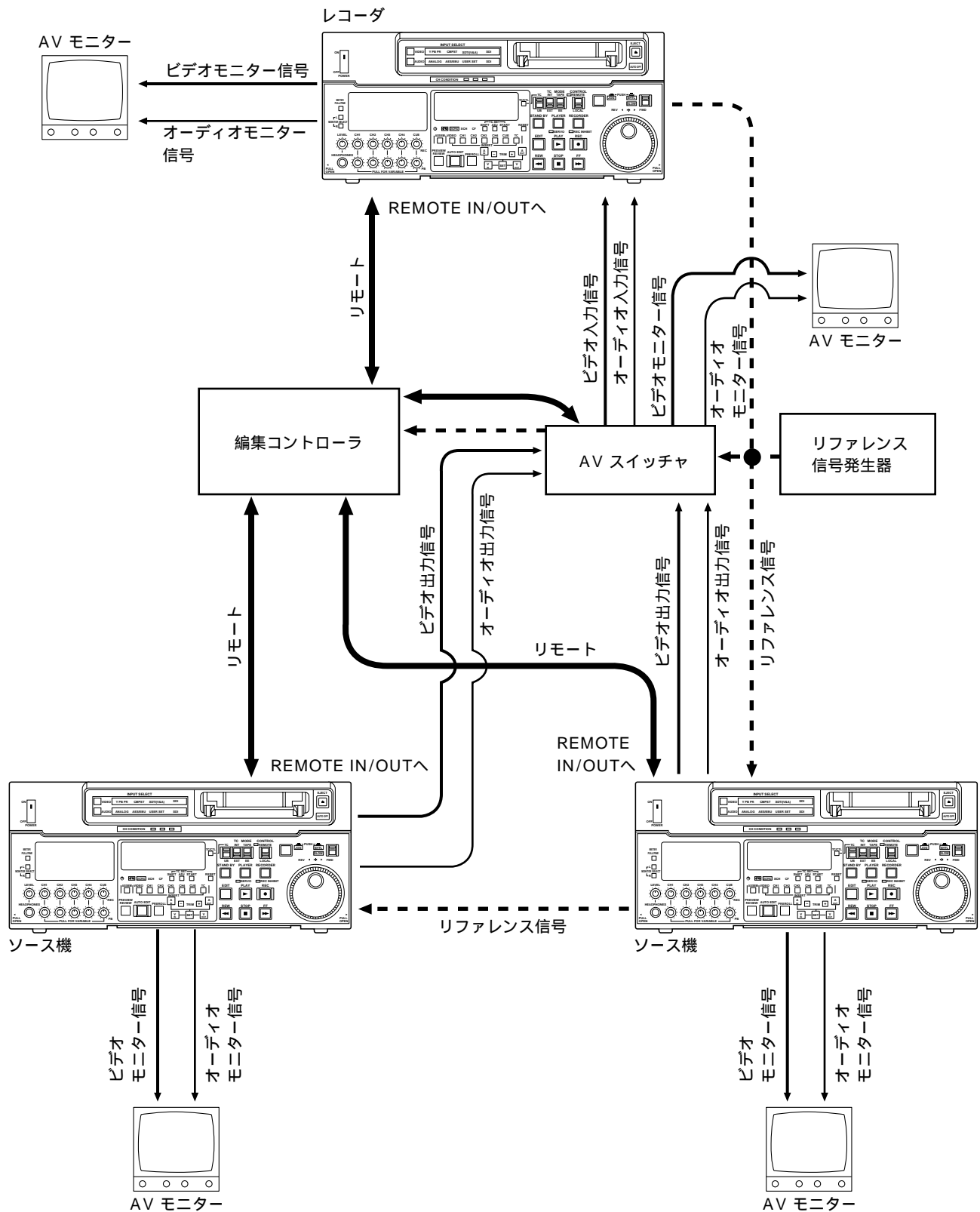


アナログビデオ信号 (コンポーネント)  
[ アナログ入出力信号インターフェース  
ボードキット (オプション) 搭載時 ]

[ アナログ入出力信号インターフェース  
ボードキット (オプション) 搭載時 ]



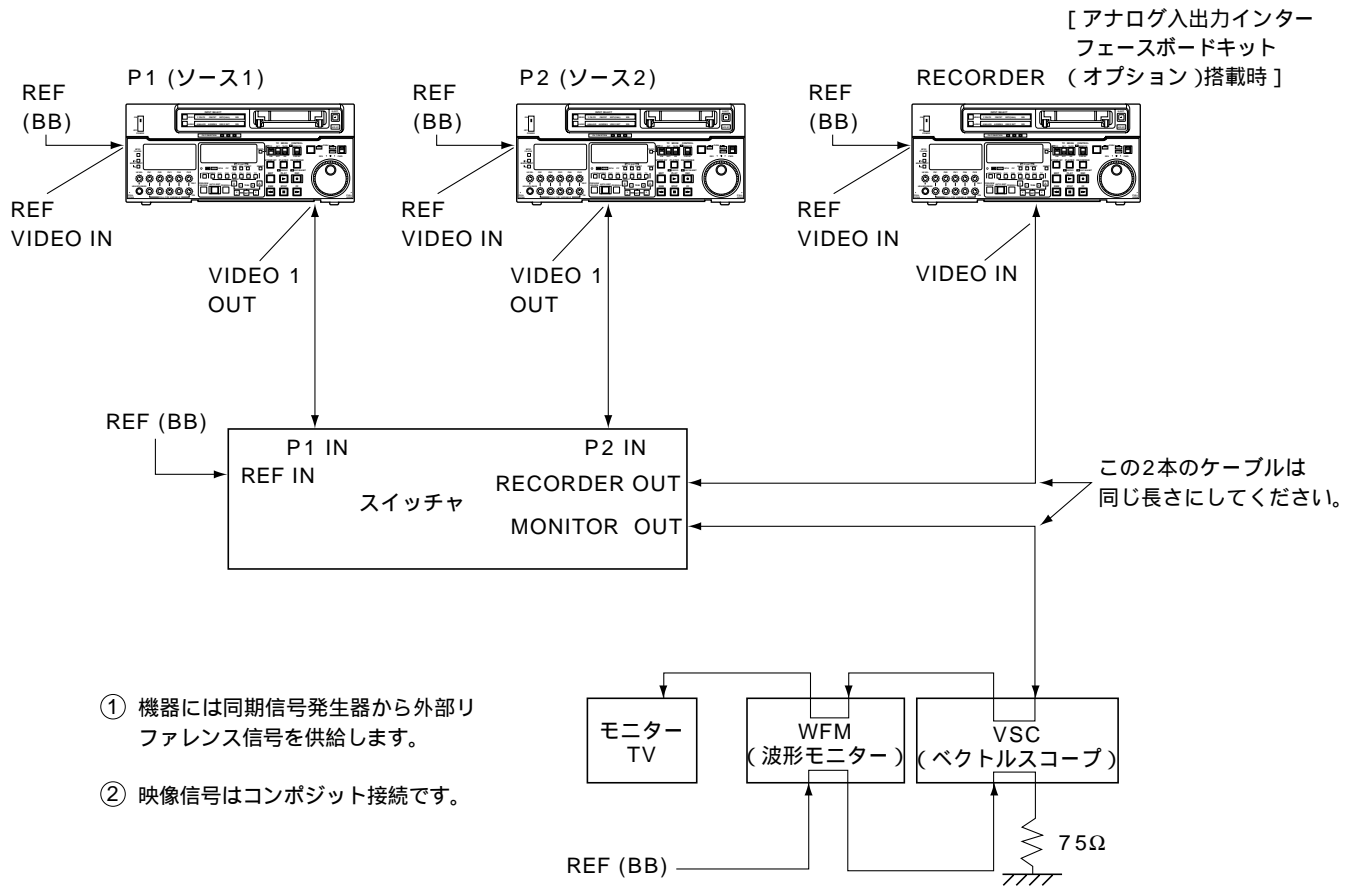
# 編集コントローラとの接続例



<ノート>

CMX社製の編集コントローラにつきましては、編集コントローラ側の対応が必要です。

# ビデオ出力信号（エンコーダ出力）の調整のための接続

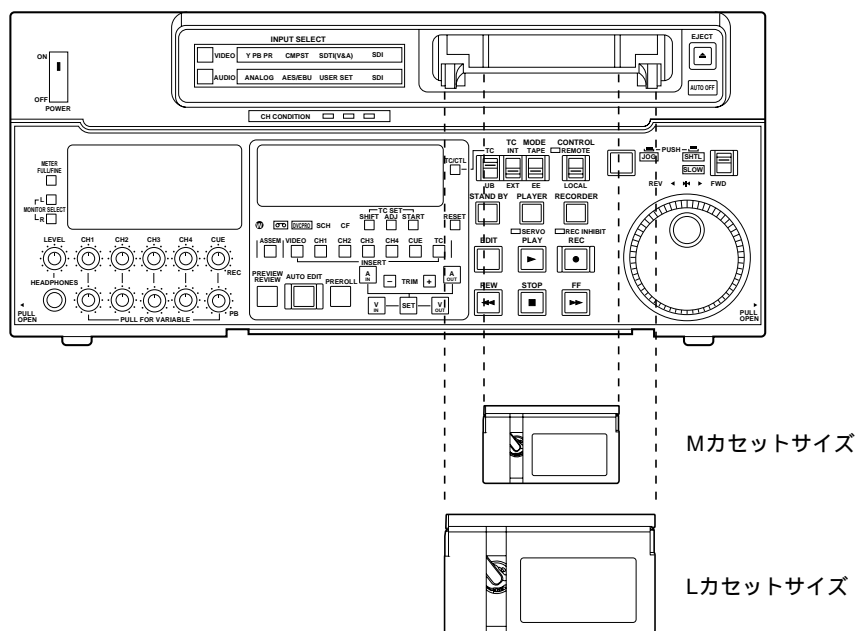


- ① 機器には同期信号発生器から外部リファレンス信号を供給します。
- ② 映像信号はコンポジット接続です。

# テープ

タイプ	内容
Mカセット	最大33分の記録・再生テープ (AJ-5P12MP、AJ-5P23MP、AJ-5P33MP)
Lカセット	最大92分の記録・再生テープ (AJ-5P63LP、AJ-5P92LP)

挿入口のセンターにカセットをあわせ、軽く押ししてください。  
カセットテープは自動的にローディングされます。



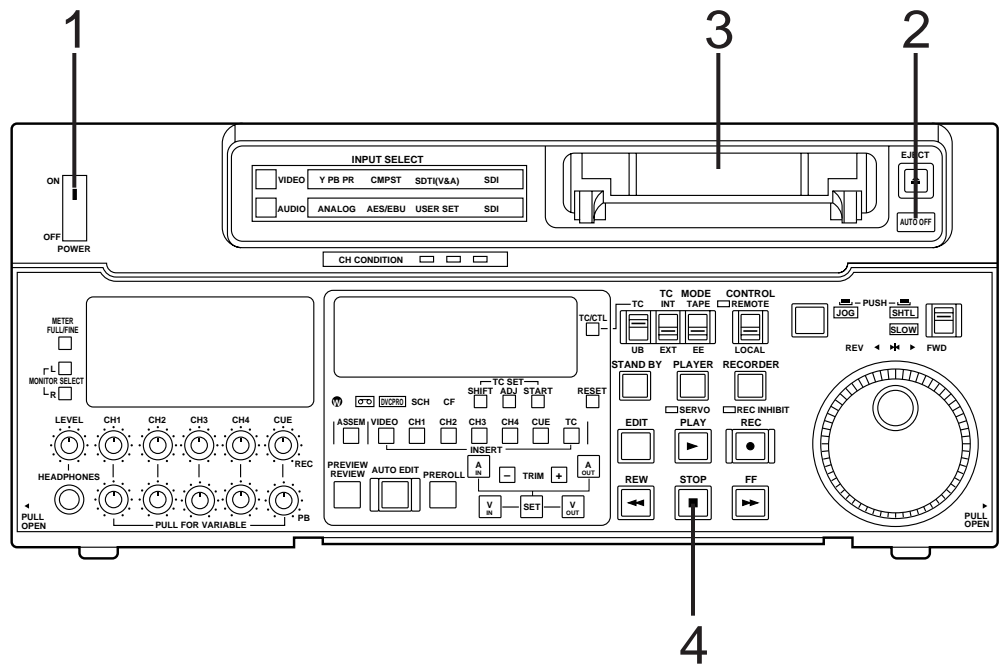
## ノート

- 民生DVテープ(Sカセットおよびアダプタ)は使用できませんので挿入しないようにお願いします。
- AJ-5P92LPテープはDVCPR0 50( 50 Mbps )モードのみにご使用ください。DVCPR0( 25 Mbps )モードまたはDVCPR0( 25 Mbps )VTRにはご使用なされないください。

# 電源投入 / カセット挿入

操作を始める前に、機器の接続が正しいかを確認してください。

- 1 電源を入れます。
- 2 AUTO OFFランプが消灯していることを確認します。  
結露など異常があると、AUTO OFFランプが点灯し、全ての操作はできなくなります。
- 3 カセットテープを挿入します。  
カセットテープは無理なく、正規の位置に挿入してください。
- 4 STOPランプが点灯していることを確認します。  
テープを挿入すると、自動的にシリンダーが回転し、テープがローディングされ、STOPモードになります。  
EJECTランプは消灯します。

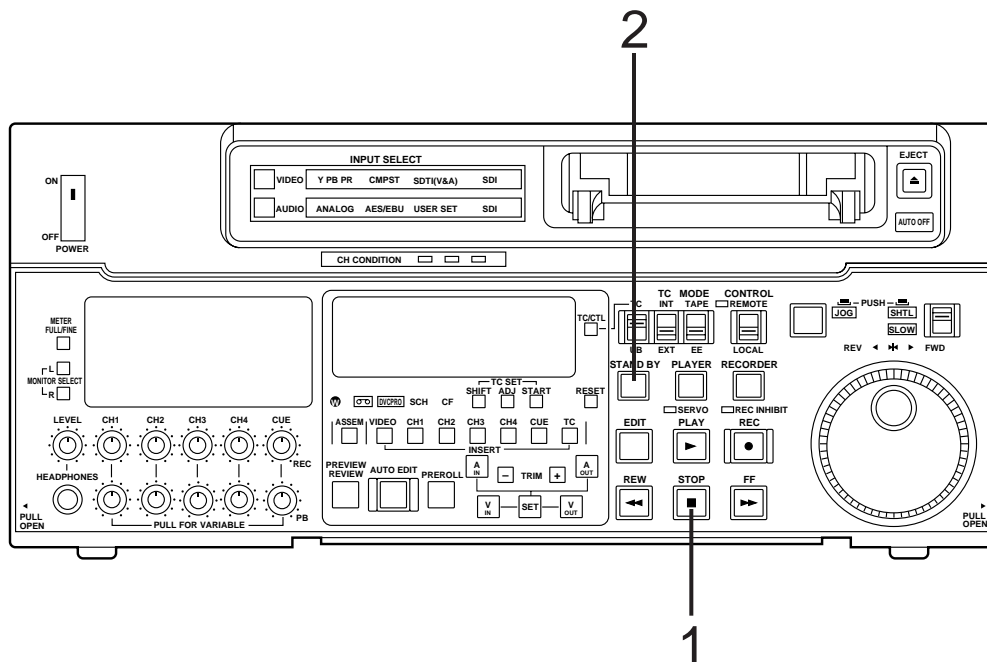


# STOP/STANDBY モード

- 1 STOPボタンを押すと、STOPモードになります。  
STOPランプが点灯し、テープ走行が停止します。
  - テープ保護のため、セットアップメニューNo.40α (STILL TIMER)で設定した時間が経過すると、スタンバイOFFモードになります。  
STOP、REW、FF、PLAYの各ボタンを押すと、そのモードになります。
- 2 STAND BYボタンを押すと、スタンバイON/OFFモードになります。  
ランプの点灯中は、スタンバイONモードです。  
ストップモード中にこのボタンを押すとスタンバイOFFモードになり、ハーフローディング状態となりランプが消灯します。  
スタンバイOFFモード中にこのボタンを押すと、スタンバイONモードになります。

## STILL TIMER設定のご注意

- 番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。



- 1 カセットテープの誤消去防止用ツメを「記録」側にし、テープを挿入します。
- 2 STOPボタンを押して、本機を停止モードにします。
- 3 TAPE/EEスイッチを「EE」にします。  
モニターテレビにE-E画像が出ます。
- 4 REC INHIBITランプの消灯を確認します。  
ランプが点灯しているときはREC INHIBITスイッチを「OFF」にします。
- 5 ビデオ/オーディオ入力信号の選択とレベルの調整
  - 5-1 入力ビデオ/オーディオ信号の選択
    - 1 記録する信号を接続します。
    - 2 フロントパネルのINPUT SELECTスイッチで入力信号を選択します。  
点灯している入力信号が選択されています。
  - 5-2 ビデオレベル調整 [アナログ入出力インターフェースキット(オプション)装着時]
    - 1 通常はVIDEO IN LEVEL調整スイッチ $\textcircled{50}$ を「PRESET」にしておきます。(ユニティ値)  
ビデオ信号は適正なレベルで記録されます。
    - 2 記録レベルを調整するときは、VIDEO IN LEVEL調整スイッチ $\textcircled{50}$ を「MANUAL」にして、調整ボリュームで+3dB ~ -3dBの範囲で調整します。
  - 5-3 オーディオレベル調整
    - 1 アナログオーディオ CH1、CH2、CH3、CH4とアナログキューのオーディオ入力信号レベルを調整します。  
通常はオーディオ入出力レベルの調整ボリューム $\textcircled{45}$ を押し込んだままにしておきます。(ユニティ値)  
オーディオ信号は適正なレベルで記録されます。
    - 2 記録レベルを調整するときは、調整ボリューム $\textcircled{45}$ を引出し、アナログキューは-20dBを超えない範囲に調整します。
- 6 RECボタンを押しながら、PLAYボタンを押します。  
RECとPLAYランプが点灯し、記録が始まります。
- 7 記録を終了するときは、STOPボタンを押します。  
記録が終了し、停止モードになります。

< ノート >

- 記録中はSERVOランプが点灯していることを確認します。ランプが点滅または消えているときは、再生した画像は乱れます。
- ビデオはアナログコンポジット入力のみ調整できます。(デジタルビデオ入力とアナログコンポーネント入力は調整できません。)

# 再生

---

- 1 カセットテープを挿入し、STOPモードにします。
- 2 PLAYボタンを押します。  
通常の再生が開始されます。
- 3 オーディオ再生レベルを調整します。  
各音声レベル調整つまみを引き出して、左右に回して調整します。  
通常は押し込んだ状態にしておきます。(ユニティー値)
- 4 再生を終了するときは、STOPボタンを押します。  
VTRはSTOPモードになります。

< ノート >

- 再生中はSERVOランプが点灯していることを確認してください。消灯もしくは点滅していると、再生画像が乱れます。

# ジョグ / シャトル

---

## ジョグモード

- 1 サーチダイヤルを押して、ダイヤルを押し込みます。  
JOG ランプが点灯していることを確認します。
- 2 サーチダイヤルを回します。  
ダイヤルにクリック感がなくなり、ダイヤルの回転速度に応じたテープスピード( - 0.43 ~ + 1倍速 )で再生します。  
ダイヤルの回転を止めると、静止画になります。  
再生画はノイズレスになります。
- 3 ジョグモードから他のモードに移行する時は、移行するモードのボタンを押します。

## シャトルモード

- 1 サーチダイヤルを押して、押し込まれたダイヤルを元に戻します。  
SHTLランプが点灯し、シャトルモードになります。
  - 電源を入れた直後はサーチダイヤルを回して、センターの位置にしてください。
- 2 SHTL/SLOW スイッチを「SHTL」または「SLOW」に切換えます。
- 3 サーチダイヤルを回します。  
SHTL/SLOW スイッチが「SHTL」の時、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが 0 ~ ±32倍速まで変化します。(セッティングメニューNo.101(SHTL MAX)で±8、±16倍速に切換可能です。)  
ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。  
SHTL/SLOW スイッチが「SLOW」の時、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが - 4.1 ~ + 4.1倍速まで変化します。(セッティングメニューNo. 300(VAR RANGE)で - 0.43 ~ +1倍速に切換可能です。ただし、- 0.43 ~ + 1倍速以外はノイズが出ます。)ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。  
再生画はノイズレスになります。
- 4 シャトルモードから他のモードに移行する時は、STOPボタンまたは他のボタンを押します。

### < ノート >

- 工場出荷時には、サーチダイヤルを回すと、シャトルモードまたはジョグモードに移行するように設定されています。  
ダイレクトに可変速モードに移行することが不都合な場合は、サーチボタンを経由で移行することもできます。  
セッティングメニューNo.100(SEARCH ENA)を「KEY」にします。



# 手動編集

---

- 1 編集モードを選択します。  
ASSEMBLE：アセンブル(つなぎとり)編集を行います。  
INSERT： インサート(挿入)編集を行います。
- 2 編集チャンネルを選択します。  
インサート編集の場合は、編集を希望するチャンネルボタンを押してランプを点灯させます。
- 3 PLAYボタンを押します。
- 4 モニターテレビを見ながら、編集を希望する位置( IN点 )を探し、IN点で、PLAYとEDITボタンを同時に押します。
- 5 モニターテレビを見ながら、編集を終了する位置( OUT点 )でSTOPまたはPLAYボタンを押します。STOPモードになり編集が終了します。

< ノート >

- 手動編集の場合は編集IN点とOUT点は登録されません。
- DVCPRX( 25 Mbps )モードで使用する場合は、編集は行えません。

# プリロール

---

- 1 PREROLLボタンを押します。  
VTRはプリロール動作を行います。
  - 編集IN点が登録されている場合は、セットアップメニューNo.000(P-ROLL TIME)で設定された時間だけ編集IN点から巻戻されて止まります。
  - 編集IN点が登録されていない場合は、ボタンを押した位置からセットアップメニューNo.000(P-ROLL TIME)で設定された時間だけ巻戻されて止まります。

< ノート >

- 編集IN点とプリロール点の間にはタイムコードまたはCTLが連続して記録されてる必要があります。
- セットアップメニューNo.313(AUTO ENTRY)により、IN点が登録されていない時にIN点を登録してプリロールするか、登録しないでプリロールするかを選択できます。

# 自動編集 (デッキ対デッキ)

---

編集とは、記録済テープを使用して、別々の内容を一つにまとめたり、 unnecessary部分を削除して必要な部分だけをまとめたりする作業のことです。

編集の基本的な操作は以下のとおりです。

- 1 CONTROLスイッチをプレーヤは「REMOTE」、レコーダは「LOCAL」にします。
- 2 編集モードを選びます。
- 3 レコーダとプレーヤの編集点を登録します。
- 4 編集点の確認・訂正を行います。
- 5 編集前の確認(プレビュー)を行います。
- 6 編集を実行します。
- 7 編集結果を確認(レビュー)します。

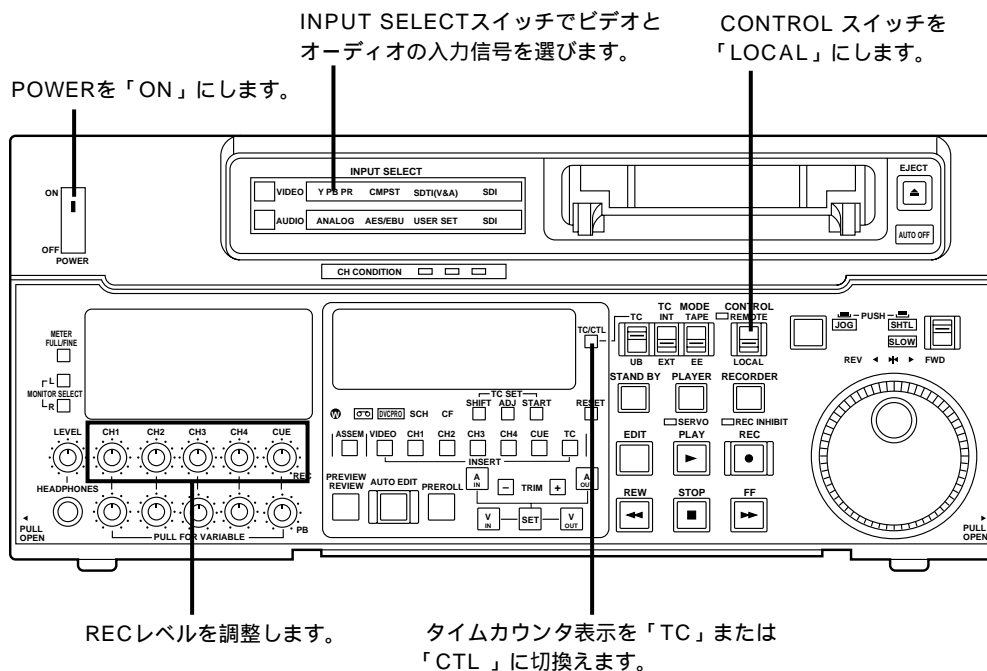
< ノート >

- レコーダ機をDVCPRQ(25 Mbps)モードで使用する場合は、編集は行えません。

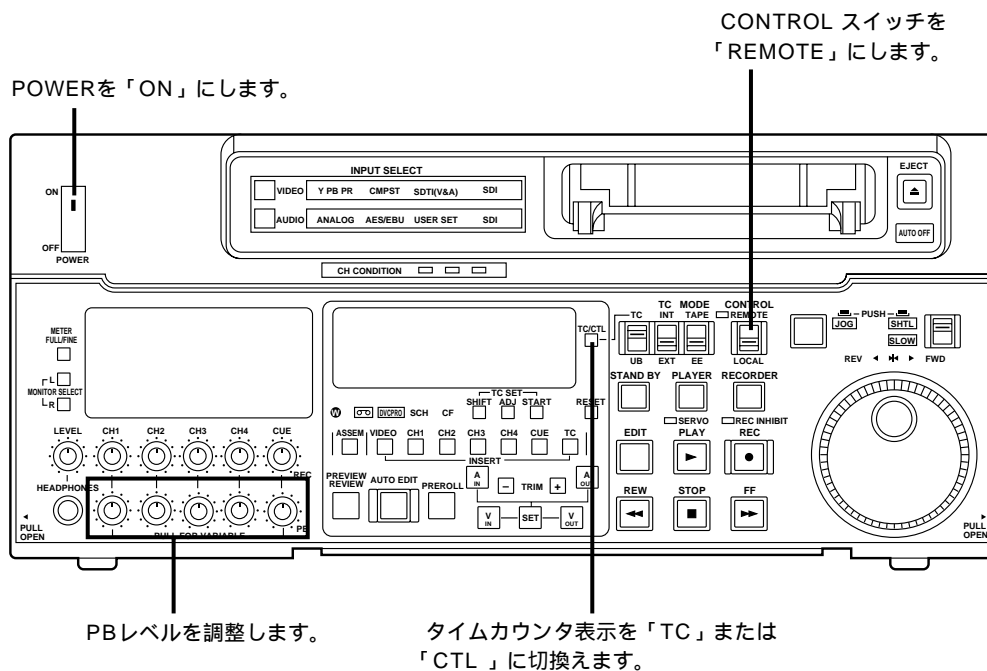
# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## スイッチの設定と調整

本機をレコーダとして使用する場合

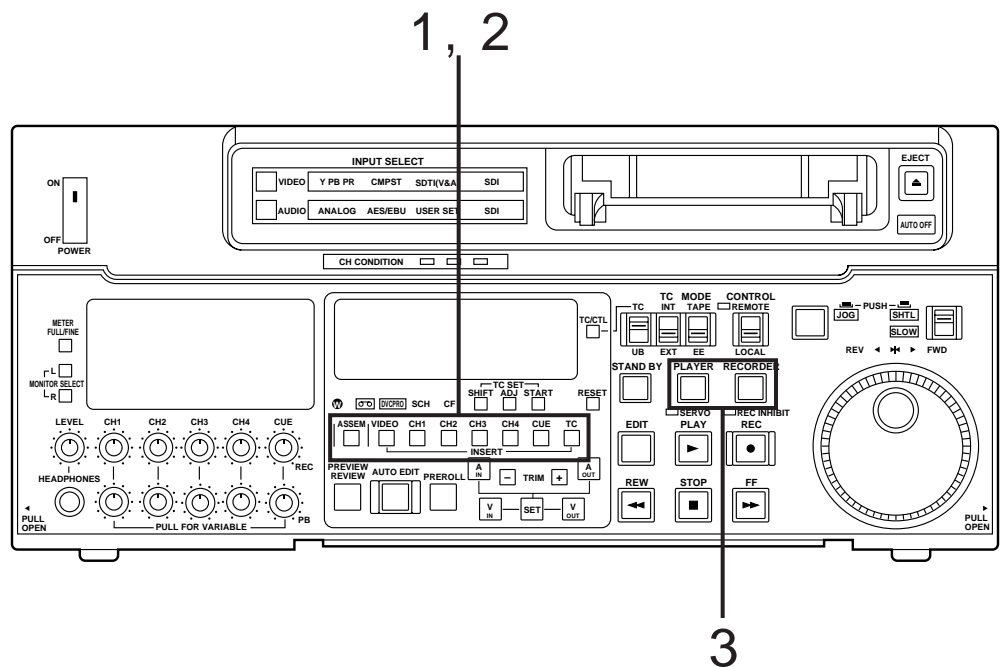


本機をプレーヤとして使用する場合



## 編集モードの選択

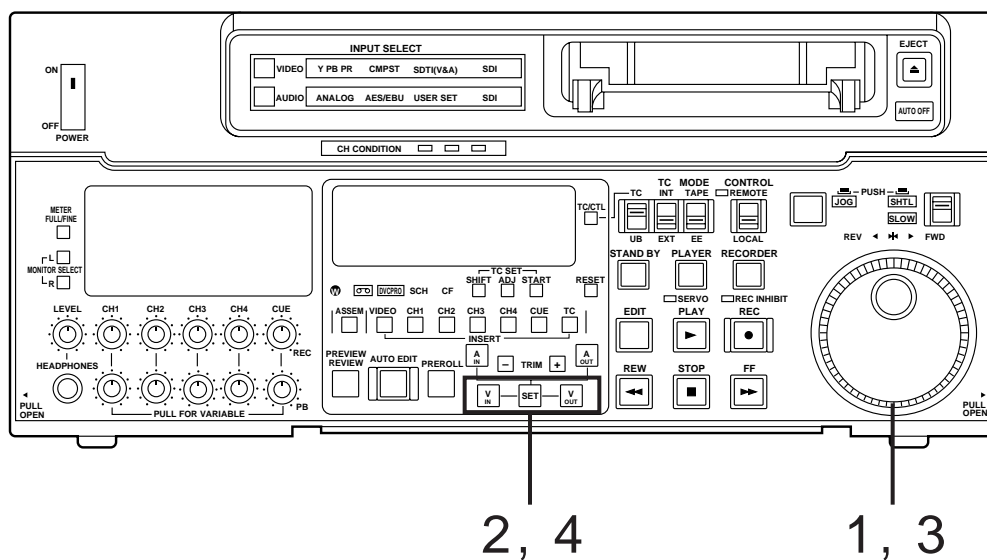
- 1 編集モードを選択します。  
アセンブル編集はASSEMBLEボタンを押します。  
インサート編集はINSERTボタンを押します。  
ASSEMBLE : アセンブル(つなぎとり)編集モードになります。  
INSERT : インサート(挿入)編集モードになります。
- 2 編集チャンネルを選択します。  
アセンブル編集の場合はASSEMBLEランプが点灯します。  
インサート編集の場合は編集するチャンネルのボタンを押して点灯させます。
- 3 操作するVTRの選択(VTR2台での編集時の設定)  
PLAYERまたはRECORDERボタンを押して操作を行うVTRを選択します。  
PLAYER : プレーヤ側VTRを操作して、編集点を登録する場合に押します。  
RECORDER : レコーダ側VTR(本機)を操作して、編集点を登録する場合に押します。



# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## 編集点の登録

- 1 ジョグ・シャトル操作で編集IN点を探します。  
希望の位置で静止画にします。  
ジョグ・シャトル操作の詳細な説明は32ページを参照してください。
- 2 INとSET ボタンを同時に押します。  
編集IN点が登録されます。  
編集IN点の値がディスプレイ部に表示されます。
- 3 ジョグ・シャトル操作で編集OUT点を探します。  
希望の位置で静止画にします。  
ジョグ・シャトル操作の詳細な説明は32ページを参照してください。
- 4 OUT とSET ボタンを同時に押します。  
編集OUT点が登録されます。  
編集OUT点の値がディスプレイ部に表示されます。



### マッチフレーム処理機能について

VTR2台での編集操作の場合、編集点はプレーヤ側にIN/OUT点、レコーダ側にIN/OUT点の合計4つの編集点があります。しかし、最後の一つは自動的に計算されますので、編集点の登録はその内の三つだけ可能です。

### ネガティブデュレーション機能について

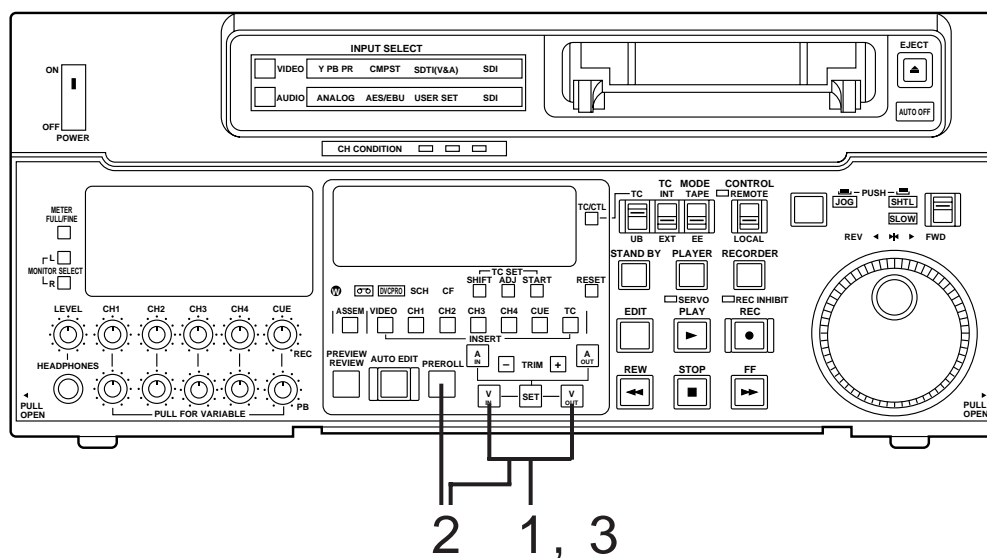
56ページのセットアップメニューNo. 301(IN/OUT DEL)とNo.302(NEGA FLASH)を組み合わせてご使用ください。

## 編集点の確認

- 1 IN(またはOUT)ボタンを押して、編集点を確認します。  
登録されている編集点の値がディスプレイに出ます。
- 2 IN(またはOUT)ボタンを押しながら、PREROLLボタンを押し、編集点の画像を確認します。
  - 編集IN(またはOUT)点にテープがキューアップされて、静止画になります。  
セットアップメニューNo. 315(AFTER CUE-UP)が「STOP」に設定されている場合、TAPE/EEスイッチが「EE」のときはE-Eモードになります。
- 3 INとOUTボタンを同時に押して、編集区間(デュレーションタイム)を確認します。  
デュレーションタイムがディスプレイ部に表示されます。

### デュレーションの計算のしかた

- 編集点が2点とも設定されている場合      2点間のデュレーション
- 編集点が1点だけ設定されている場合      設定されているデータとテープの現在アドレス間のデュレーション
- 編集点が設定されていない場合      前回編集した区間のデュレーション



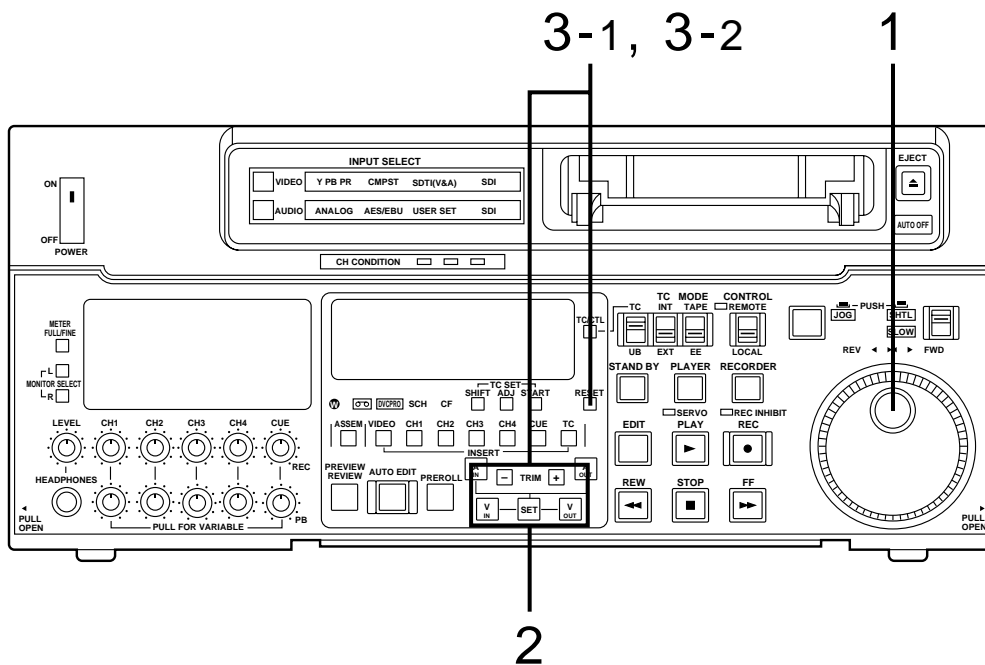
# 自動編集 (デッキ対デッキ)

## 編集点の訂正

- 1 編集点の再登録  
ジョグ・シャトル操作で新しい編集点を探し、IN(またはOUT)とSETボタンを同時に押し  
して再登録します。
- 2 フレーム単位での編集点の訂正(トリム機能)  
IN(またはOUT)ボタンを押しながらTRIMボタンを押します。  
+ ボタンを一回押すたびに、1フレーム進みます。  
- ボタンを一回押すたびに、1フレーム戻ります。
- 3 編集点のリセット
  - 3-1 編集INとOUT点両方のリセット
    - RESETボタンを押します。
  - 3-2 編集INまたはOUT点のどちらか片方のリセット
    - IN(またはOUT)ボタンを押しながらRESETボタンを押します。

< ノート >

- 編集点のリセット3-1はCTLモード時のみ有効です。
- 編集実行中でも編集OUT点のリセットは可能です。
- EJECTモード時はINおよびOUT点は自動的にリセットされます。



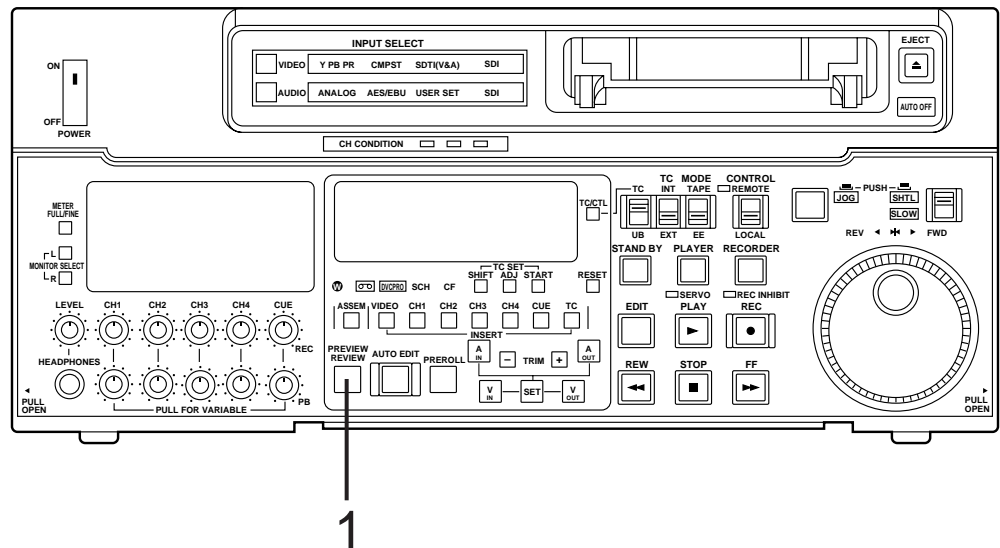


# プレビュー

- 1 編集点登録後に、PREVIEW ボタンを押します。  
通常のプレビューが実行されます。

< ノート >

- 編集IN点が登録されていない場合は、PREVIEWボタンが押された位置を編集IN点として登録します。
- プレビューを途中でやめる場合は、STOPボタンを押します。
- プレビュー実行中にIN点以降で再度PREVIEWボタンを押すと、最初からプレビューが開始されます。
- 編集OUT点になると、自動的に止まります。



# 自動編集（デッキ対デッキ）

## 自動編集の実行

- 1 AUTO EDITボタンを押します。  
自動編集が実行されます。
  - 途中で編集をやめる場合は、STOPボタンを押します。
  - 編集OUT点になると、ポストロール後、止まります。

### ポストロールについて

アSEMBル編集の場合、編集OUT点通過後約2秒間編集を続け、OUT点に戻って止まります。  
インサート編集の場合、編集OUT点通過後PLAYモードになり、OUT点に戻って止まります。

### リトライ機能

STOPボタンを押して編集を途中でやめても、そのまま再度AUTO EDITボタンを押すと最初から編集を行います。

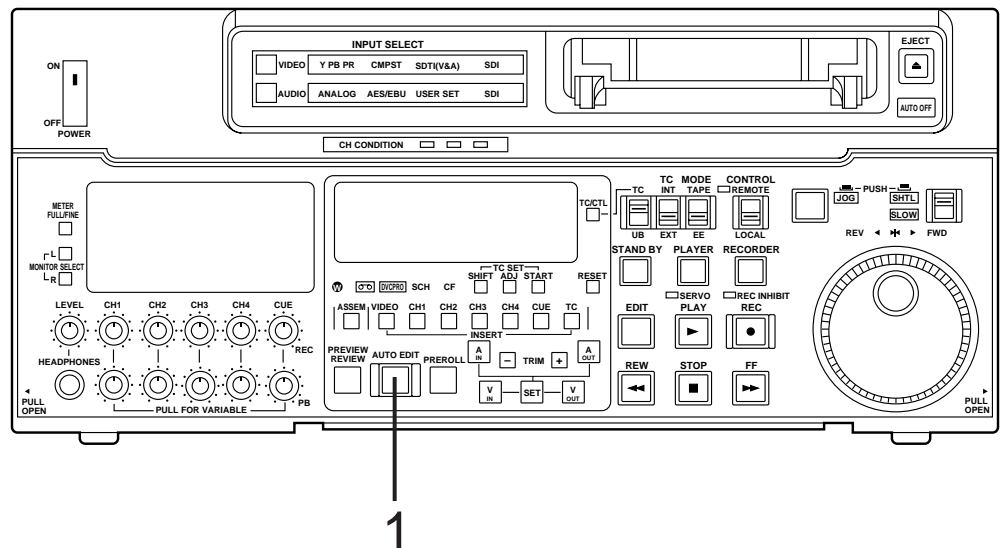
### オートタグ編集

編集終了後、次の編集点登録をまだ行っていない場合、AUTO EDITボタンを押すと、前回の編集OUT点をIN点として登録し、編集を行います。

オートタグモードを解除する場合は、走行系(PLAYボタンなど)ボタンを押します。

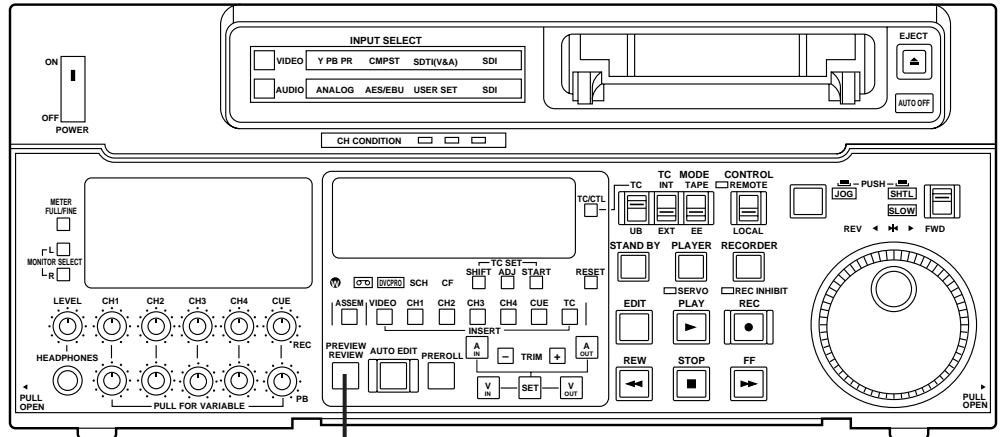
### < ノート >

編集実行後、登録点は自動的にクリアされますがTRIM+(またはTRIM-)とSETボタンを同時に押すと、前回の編集点をリコールすることができます。



# レビュー

- 1 編集終了後に、REVIEWボタンを押します。  
レコーダ側でレビューが始まります。
- レビューを途中でやめる場合は、STOPボタンを押します。
  - 編集OUT点になると、ポストロール後、止まります。



1

# 自動編集 (デッキ対デッキ)

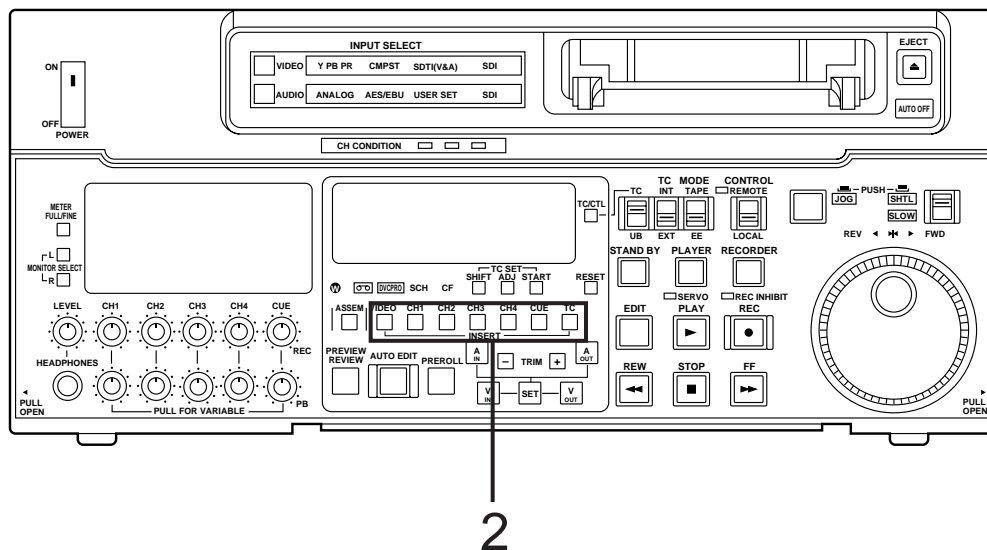
## スプリット編集

スプリット編集は、インサート編集中に編集チャンネルを切替える編集のことをいいます。

- 1 インサート編集を実行します。
- 2 編集チャンネルを切替えます。

例えば、VIDEOチャンネルをインサート編集中にAUDIO CH2の音声を追加挿入する場合

- 2-1 VIDEOチャンネル編集中にAUDIO CH2 ボタンを押します。  
ランプが点灯し、AUDIO CH2 がインサート編集されます。
- 2-2 再度AUDIO CH2 ボタンを押して、ランプを消灯させます。  
AUDIO CH2 のインサート編集が終了します。



## オーディオスプリット編集

ビデオの編集点とオーディオの編集点を独立に登録し、編集点をずらせて編集することができます。オーディオ編集点の登録はアSEMBル編集モードが選択されている時はできません。編集点を登録した後は、インサート編集と同じ操作を行います。

### 編集点の登録

- ビデオIN点 : INボタンを押しながらSETボタンを押します。
- ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらSETボタンを押します。
- オーディオIN点 : A-INボタンを押しながらSETボタンを押します。
- オーディオOUT点 : A-OUTボタンを押しながらSETボタンを押します。

### 編集点の削除

- ビデオIN点 : INボタンを押しながらRESETボタンを押します。
- ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらRESETボタンを押します。
- オーディオIN点 : A-INボタンを押しながらRESETボタンを押します。
- オーディオOUT点 : A-OUTボタンを押しながらRESETボタンを押します。

### 編集点の訂正

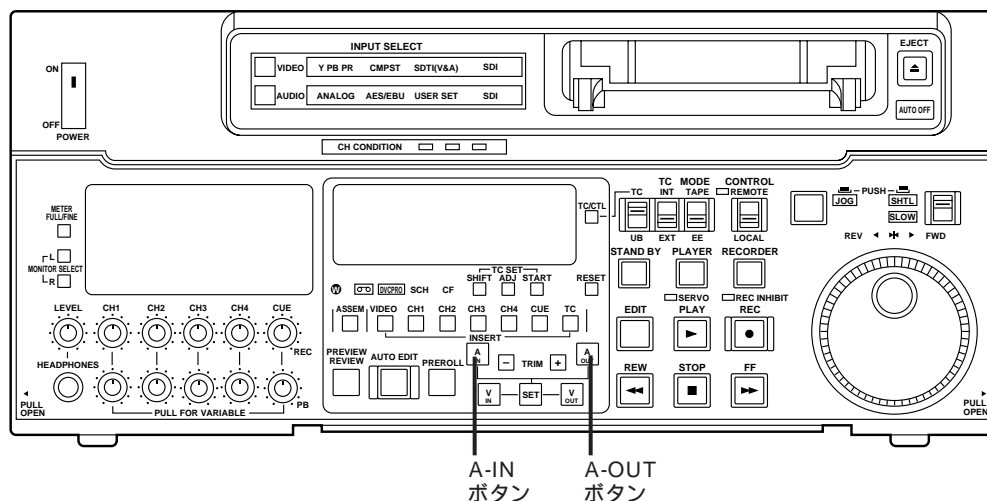
- ビデオIN点 : INボタンを押しながらTRIM+またはTRIM - ボタンを押します。
- ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらTRIM+またはTRIM - ボタンを押します。
- オーディオIN点 : A-INボタンを押しながらTRIM+またはTRIM - ボタンを押します。
- オーディオOUT点 : A-OUTボタンを押しながらTRIM+またはTRIM - ボタンを押します。

### オーディオスプリット編集の表示

オーディオ編集点を登録しますと、「\*」がフロントパネルとモニターテレビにスーパー表示され、オーディオスプリット編集であることを表示します。

TCR 00:00:00:00  
\* AUTO EDIT

オーディオスプリット編集表示



## オーディオスプリット編集

### オーディオスプリット編集点の表示

編集点はフロントパネルに以下のように表示されます。(下図はオーディオIN点の場合)

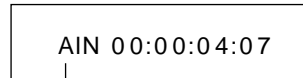
操作

ビデオIN点 : INボタンを押します。

ビデオOUT点 : OUTボタンを押します。

オーディオIN点 : A-INボタンを押します。

オーディオOUT点 : A-OUTボタンを押します。



IN、OUT、AIN (オーディオIN点)

AOUT (オーディオOUT点)

< ノート >

オーディオ編集点の登録後、編集モードをアSEMBル編集に切換えると、オーディオ編集点は削除されます。

### 編集点へのキューアップ

ビデオIN点へのキューアップ : INボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

ビデオOUT点へのキューアップ : OUTボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

オーディオIN点へのキューアップ : A-INボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

オーディオOUT点へのキューアップ : A-OUTボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

### デュレーションの表示

デュレーションはフロントパネルのみ表示することができます。

ビデオIN点/OUT点間 : INボタンとOUTボタンを同時に押します。

オーディオIN点/OUT点間 : A-INボタンとA-OUTボタンを同時に押します。

マッチフレーム処理機構について

- VTR2台でオーディオスプリット編集操作の場合、ビデオの編集点としてプレーヤ側にIN/OUT点、レコーダ側にIN/OUT点と、オーディオの編集点としてプレーヤ側にオーディオIN/OUT点、レコーダ側にオーディオIN/OUT点の合計8つの編集点があります。8点のうち5点の編集点を登録すると、残りの3点は自動的に計算されますので、編集点の登録は5点まで可能となります。

### スプリット編集機能のないVTRをプレーヤにする時

ビデオとオーディオの編集点を独立して設定することができないVTRをプレーヤとして使用する時、オーディオのIN点とOUT点をレコーダ側に設定し、ビデオの編集点として3点のデータを設定すると、スプリット編集が可能となります。

< ノート >

オーディオスプリット編集時、オーディオOUT点(またはビデオOUT点)を登録せずに、ビデオOUT点(またはオーディオOUT点)のみ登録し、自動編集を実行すると、オーディオOUT(またはビデオOUT点)点が登録されるか、STOPボタンを押して操作を中断するまで編集を続けます。

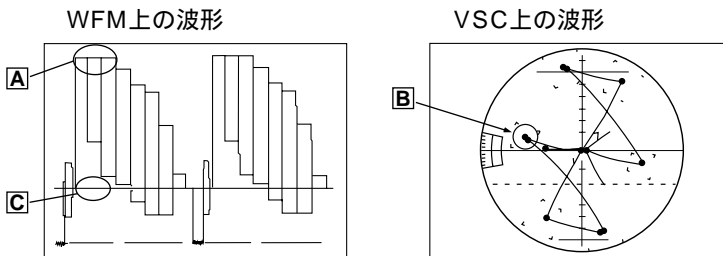
# ビデオ出力信号（エンコーダー出力）の調整

編集機を使用したABロール編集(2台のソース機を使った編集)などを行う場合、誤差のない正確な編集を行うためには、システム接続後にビデオ出力信号(ENCODER OUT)を調整する必要があります。

(この調整は、接続ケーブルを交換した場合や接続を変えるごとに調整しなおす必要があります。)

本機で調整する場合は以下のようにします。

- 1 接続を確認します。(26ページ参照)
- 2 セットアップメニューNo.00(ENCODER SEL)を「LOCAL」に設定します。  
REMOTE : 外部のエンコーダーリモートコントローラでビデオ出力信号を調整します。  
LOCAL : 本機でビデオ出力信号を調整します。
- 3 ソース機単体で調整します。
  - 3-1 プリセット値を使用する場合、  
VIDEO OUT LEVEL、CHROMA LEVEL、SETUP、HUE、の各PRESET/  
MANUALスイッチを「PRESET」にします。
  - 3-2 PRESET値を使わずに、ビデオ出力信号を調整する場合
    - 1 標準カラーバーの記録されているカセットテープを再生します。
    - 2 ウェーブフォームモニター(WFM)、ベクトルスコープ(VSC)が以下のようになるように各ボリュームを調整します。
      - A ビデオレベル  
100IREに調整します。
      - B クロマレベル・ヒュー  
二つのボリュームを調整して $\square$ マークに各ベクトル波形の光点を入れます。
      - C セットアップレベル  
ズレをなくすように調整します。



- 4 接続しているソース機を同じように調整します。

# セットアップ (初期設定)

本機の主な設定はメニュー方式で選択しながら行います。

モニターテレビとコネクタ部のVIDEO OUT 3端子と接続している場合はテレビに設定メニューが出ます。

## 設定の変更

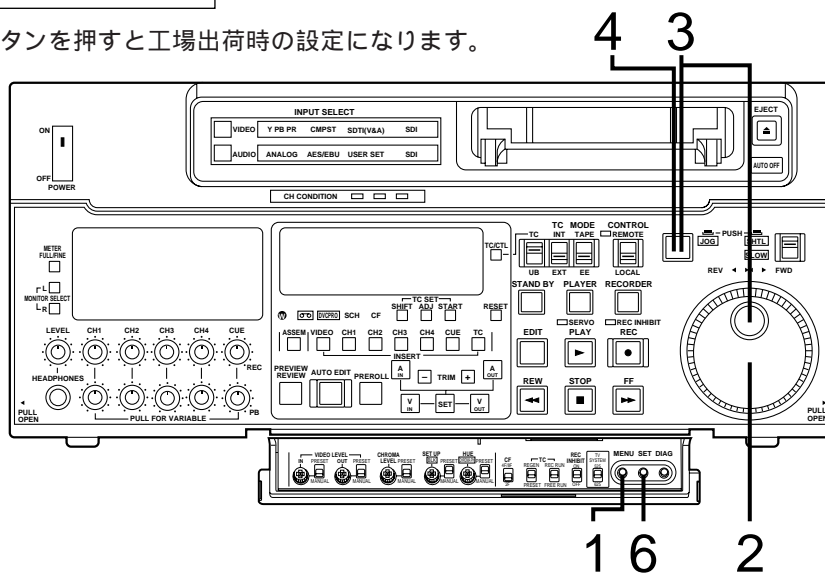
- 1** MENUボタンを押します。  
モニターテレビにセットアップメニューの画面が、カウンタ表示部にセットアップメニューの項目No.がそれぞれ表示されます。  
(以前にセットアップを行っている場合は、最後に変更を行った画面が表示されます。)
- 2** サーチダイヤルを回して、設定する項目を選びます。  
メニュー画面のカーソル( \* )が移動し、ディスプレイの項目No.が点滅します。
  - 右に回すと項目No.が001 002 003 004 のように増加し、左に回すと減少します。
  - PLAYボタンを押しながらFFまたはREWボタンを押すと、次または前の項目に切り替わります。
  - サーチダイヤルはできるだけJOGモードでご使用ください。
- 3** 変更する位置で、サーチボタンを押しながら、サーチダイヤルを回します。  
メニュー画面およびディスプレイの設定値が点滅します。  
ダイヤルを右に回すと設定No.が増加し、左に回すと減少します。
- 4** 設定が終了すると、サーチボタンを離します。  
項目No.が点滅します。
  - サーチダイヤルがSHTLモードのときは、静止にしないと項目が移動します。
- 5** 変更する項目がある場合、2～4 を繰り返します。
- 6** SETボタンを押します。  
変更した内容は記憶されます。  
設定した内容を変更前に戻す場合は、MENUボタンを押します。
  - セットアップの内容を工場出荷(初期設定)に戻すときは、メニューが表示されているときにRESETボタンを押します。以下のメッセージが出ます。

SETUP-MENU INIT SET  
YES<PLAY>/NO<STOP>

PLAYボタンを押すと工場出荷時の設定になります。

### <ノート>

- RESETボタンを押して工場出荷設定に戻す時は、現在使用されているユーザーファイルのみに限られます。他のユーザーファイルには影響を与えません。
- SYSTEMメニューの内容は、MENUボタンを押しても変更内容が記録されます。



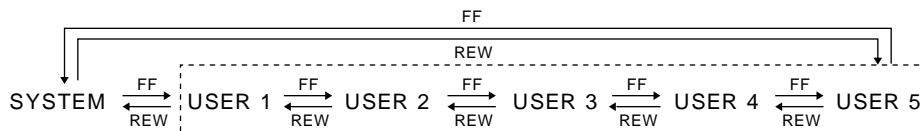


# セットアップ（設定）メニュー

本機は5つのユーザーファイルを持つことができ、それぞれ異なったメニュー設定の中からいずれか1つを選択して使用することができます。

## ファイルの変更

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらFFボタンを押すと、次のユーザーファイルに切り替わります。  
STAND BYボタンを押しながらREWボタンを押すと、前のユーザーファイルに戻ります。



### ユーザーファイル

各ユーザーファイルには下の項目があります。

- BASIC
- OPERATION
- INTERFACE
- EDIT
- TAPE PROTECT
- TIME CODE
- VIDEO
- AUDIO

- 3 ステップ2の操作で使用するユーザーファイルを決定すると、SETボタンを押します。  
ユーザーファイルを変更して記憶します。

### < ノート >

- SYSTEMメニューの項目は、ユーザーファイルの1～5の中には含まれないのでユーザーファイルの切り換えを行い、SYSTEMファイルに切り換えた後、SYSTEMメニューの項目を設定してください。

# セットアップ (設定) メニュー

## SYSTEM メニュー

### < SYSTEM >

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
00	ENCODER SEL	0000 0001	REMOTE LOCAL	ビデオ出力信号の各調整を本機で行うか、外部のエンコーダリモートコントローラから行うかを設定します。 0 : 外部のエンコーダリモートコントローラから、ビデオ出力信号の各調整を行います。 1 : 本機でビデオ出力信号の各調整を行います。
01	SYS SC	0000 } 0127 } 0255	- 127 } 0 } 128	システム位相調整：トータル可変範囲 ±180° 以上 - : 進み + : 遅れ <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
02	SYS H	0000 } 0108 } 0216	- 108 } 0 } 108	システム位相調整：74ns ステップ - : 進み + : 遅れ <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
03	VIDEO PHASE	0000 } 0032 } 0064	- 32 } 0 } 32	ビデオ位相調整：148ns ステップ - : 進み + : 遅れ
04	SCH COARSE	0000 0001 0002 0003	0 90 180 270	SCH位相調整：90° 単位 - : 進み + : 遅れ (SC位相が変化し、H位相は変化しません。)
05	SCH FINE	0000 } 0032 } 0064	- 32 } 0 } 32	SCH位相調整：トータル可変範囲 ±45° 以上 (SC位相が変化し、H位相は変化しません。)
06	AV PHASE	0000 } 0100 } 0200	- 100 } 0 } 100	映像出力に対しての、音声出力の位相を調整します。 : 20.8 μsステップ - : 映像出力に対して、音声出力の位相が進みます。 + : 映像出力に対して、音声出力の位相が遅れます。
07	SYS H RANGE	0000 0001	FULL FINE	ENCODER REMOTE接続時のSYSTEM Hの可変範囲を選択します。 0 : ±8 μ sec ( ±30ステップ ) 1 : - 1.9 ~ + 2.7 μ sec ( - 7 ~ + 10ステップ ) <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < BASIC >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
000	P-ROLL TIME	0000 } 0005 } 0015	0S } 5S } 15S	プリロール時間を設定します。 0秒～15秒の間で1秒単位で設定できます。 <ノート> VTR本体での自動編集 [PREVIEW、AUTO EDIT] 時は プリロール時間が0秒に設定されていると動作しません。
001	LOCAL ENA	0000 0001 0002	DIS ST&EJ ENA	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、フロン トパネルで操作可能なボタンを選択します。 0：全て不可 1：STOP、EJECTボタンのみ可能 2：RECORDER、PLAYERボタン以外全て可能
002	TAPE TIMER	0000 0001	±12h 24h	CTLカウンタ表示の12/24時間表示を選択します。 0：12時間表示 1：24時間表示
003	REMAIN SEL	0000 0001	OFF ON	フロントのREMAIN(テープ残量時間)を表示するかどうか を選択します。 0：表示しません。 1：表示します。 <ノート> 表示するを選択した場合であっても、EJECTおよびカ セットイン後でテープ残量の計算を行っている間は、表示 されません。
004	SETUP NUMBER	0000 0001	OFF ON	フロントにSETUP-MENUのNo.表示を行うかどうかを選 択します。 0：表示しません。 1：表示します。
005	METER SEL	0000 0001	CUE VIDEO	レベルメータの表示に、CUEトラック信号またはビデオ 信号のレベルを表示することができます。 0：CUEトラック信号レベルを表示します。 1：ビデオ信号レベルを表示します。
006	SYNCHRO- NIZE	0000 0001	OFF ON	2台のデッキ間で調相するかしないかを設定します。 0：調相をかけません。編集点が数フレームずれますが編 集に素早く入れます。 1：調相をかけます。誤差のない編集をすることができます。
007	SUPER	0000 0001	OFF ON	VIDEO OUT3/SERIAL OUT3端子にタイムコード等の スーパー表示を行うかどうかを選択します。 0：表示しません。 1：表示します。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < BASIC > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
008	DISPLAY SEL	0000 0001 0002	TIME T&STA T&S&M	VIDEO OUT3/SERIAL OUT3端子のタイムコード等のスーパー表示の表示内容を選択します。 0 : 時間のみ 1 : 時間および動作モード 2 : 時間、動作モードおよびモード <ノート> ワーニング、エラー発生時はエラーメッセージを表示します。
009	CHARA H-POS	0000 } 0005 } 0012	0 } 5 } 12	VIDEO OUT3/SERIAL OUT3端子のタイムコード等のスーパー表示の水平方向文字位置を設定します。 <ノート> 1. 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではVIDEO 3へ出力します。ただし、MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従います。また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態でVIDEO3へ出力します。 2. DISPLAY SELの状態により画面から文字がはみ出す場合、設定値は変化しますが、文字は自動的にはみ出ない位置に表示します。
010	CHARA V-POS	525モード 0000 } 0018 } 0022 625モード 0000 } 0023 } 0028	0 } 18 } 22 0 } 23 } 28	VIDEO OUT3/SERIAL OUT3端子のタイムコード等のスーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。 <ノート> 1. 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではVIDEO OUT3へ出力します。ただし、MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定にしたがいます。 2. DISPLAY SELの状態により画面から文字がはみ出す場合、設定値は変化しますが、文字は自動的にはみ出ない位置に表示します。
011	CHARA TYPE	0000 0001	WHITE W/OUT	VIDEO OUT3/SERIAL OUT3端子のスーパーおよび、SETUP-MENU等の表示タイプを選択します。 0 : 白文字で、背景は黒 1 : 白文字で、黒のふちどり
012	SYS FORMAT	0000 0001	422 411	本機の記録・再生フォーマットを設定します。 0 : 422( 50M )を選択します。 1 : 411( 25M )を選択します。 <ノート> 411モードでの編集は行えません。
013	PB FORMAT	0000 0001	MANUAL AUTO	テープ再生時のフォーマットを設定します。 0 : セットアップメニューNo.012( SYS FORMAT )の設定にしたがいます。 1 : テープに記録されているフォーマットにしたがいます。 <ノート> ●編集モード選択時は内部動作は強制的に「MANUAL」になります。 ●525/625モードの自動設定は行えません。

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < OPERATION >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
100	SEARCH ENA	0000 0001	___ DIAL KEY	ダイレクトサーチダイヤル操作を選択します。 0 : ダイレクトサーチダイヤルの操作になります。 1 : サーチボタンを押さないとサーチモードに移行しませ ん。
101	SHTL MAX	0000 0001 0002	X8 X16 ___ X32	シャトル動作の最大速度を設定します。 0 : X8倍速 1 : X16倍速 2 : X32倍速
102	FF. REW MAX	0000 0001 0002	X16 ___ X32 X50	FF、REW動作の最大速度を設定します。 0 : X16( 32 )倍速 1 : X32( 60 )倍速 2 : X50( 100 )倍速 < ノート > ( )表示は411( 25M )モード時
103	AUDIO MUTE	0000 0001	___ OFF ON	STOPまたはサーチからPLAYに移行したとき、音声信号 が出力されるまでの状態を設定します。 0 : 音声が出力されるまでの時間が短くなります。 1 : 完全な状態になってから音声を出力します。 < ノート > 0( OFF )に設定した場合、出力される最初の部分は不完全 な音になるため、放送用に使用することはおすすめできま せん。
104	REF ALARM	0000 0001	___ OFF ON	REF. VIDEOが接続されていないときに警告表示するかど うかを選択します。 0 : 表示しません。 1 : STOPランプを点滅させることで警告表示します。
105	AUTO EE SEL	0000 0001 0002	___ S/F/R STOP BLACK	TAPE/EE SWがEEの時、EE状態になるVTRのモードを 選択します。 0 : STOP、FF、REWの時、EE状態になります。 但し、EJECTは、TAPE/EE SW状態に関係なく常 にEE状態になります。 1 : STOPの時のみ、EE状態になります。 但し、EJECTは、TAPE/EE SW状態に関係なく常 にEE状態になります。 2 : STOPの時のみ、EE状態になります。 但し、EJECTは、TAPE/EE状態により EE時 : EE状態になります。 TAPE時 : 映像系は、BLACK状態になります。 音声系は、ミュート状態になります。
106	EE MODE SEL	0000 0001	NORMAL ___ THRU	EEモード時の出力信号を選択します。 0 : 内部で信号処理した時間分、遅延した信号を出力しま す。 1 : 内部で信号処理を加えず、遅延なしでそのまま信号を 出力します。 < ノート > ●編集モード選択時、ビデオの入力信号選択において SDTIを選択した時、ビデオまたはオーディオにおいて INT SGを選択した時は内部動作は強制的に「NORMAL」 になります。
107	PLAY DELAY	0000 } } 0015	___ 0 } } 15	PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。

\_\_\_ は工場出荷モードです。

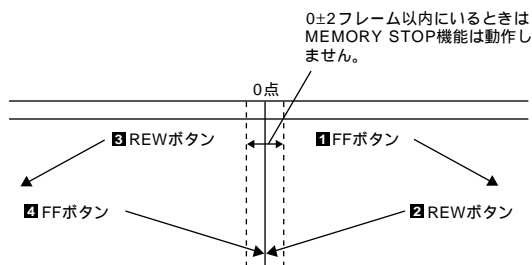
# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < OPERATION > ( つづき )

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
108	CAP.LOCK	0000 0001	4F 8F	CFスイッチが4F/8Fに設定されている時のCAPSTAN LOCKモードを選択します。 0 : 4Fモード 1 : 8Fモード < ノート > 525モード時は、このセットアップメニューは表示されません。
109	AUTO REW	0000 0001	OFF ON	テープ終端を検出した場合、自動的にテープ始端まで巻き戻すかどうかを選択します。 0 : テープ終端で停止します。 1 : テープ始端まで巻き戻します。
110	MEMORY STOP	0000 0001	OFF ON	CTLモードのFFおよびREW動作において、カウンタ値が0の位置で自動的に停止するかどうかを選択します。 0 : VTRは停止しません。 1 : VTRは自動的に停止します。 < ノート > 1. 停止モードは、セットアップメニューNo.315( AFTER CUE-UP )の設定により停止または静止画( SHTL STILL )モードとなります。 2. AUTO REW機能とMEMORY機能が同時に選択されている場合、AUTO REW機能が優先となります。

### MEMORY STOP機能説明



- 1 FFボタンを押した場合は動作する方向に0点がないため、通常のFF動作になります。
- 2 REWボタンを押した場合、PREROLLランプ( SHTLランプも点灯 )が点灯し、VTRはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。
- 3 REWボタンを押した場合は動作する方向に0点がないため、通常のREW動作になります。
- 4 FFボタンを押した場合、PREROLLランプ( SHTLランプも点灯 )が点灯し、VTRはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < INTERFACE >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
200	PARA RUN	0000 0001	DIS ENA	2 台以上のVTR を同期運転させるかを選択します。 0 : 同期運転させません。 1 : 同期運転させます。 <ノート> 同期運転させる場合は、全てのVTRの項目200「1」に設定します。
201	9P SEL	0000 0001	OFF ON	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、9P端子が機能するかどうかを選択します。 0 : 機能しません。 1 : 機能します。
202	ID SEL	0000 0001	OTHER DVCPRO	コントローラに返すID情報を選択します。 0 : 20 25H 1 : DVCPROの独自のID(F0 33H)を返します。
203	25P SEL	0000 0001	OFF ON	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、PARALLEL(25P)端子が機能するかどうかを選択します。 0 : 機能しません。 1 : 機能します。
204	RS232C SEL	0000 0001	OFF ON	REMOTE/LOCAL SWがREMOTEのとき、RS-232C端子が機能するかしないかを選択します。 0 : 機能しない 1 : 機能する
205	BAUD RATE	0000 0001 0002 0003 0004 0005	300 600 1200 2400 4800 9600	RS-232Cの通信速度(ボーレート)を設定します。
206	DATA LENGTH	0000 0001	7 8	RS-232Cのデータ長を設定します。 (単位: BIT)
207	STOP BIT	0000 0001	1 2	RS-232Cのストップビット長を設定します。 (単位: BIT)
208	PARITY	0000 0001 0002	NON ODD EVEN	RS-232Cのパリティビットの有無、奇数、偶数を設定します。 0 : パリティビットを使用しない 1 : パリティビットを奇数パリティで使用する 2 : パリティビットを偶数パリティで使用する
209	RETURN ACK	0000 0001	OFF ON	RS-232Cからのコマンド受信時、ACKコードを返信するかしないかを設定します。 0 : ACKコードを返信しない 1 : ACKコードを返信する

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

< EDIT >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
300	VAR RANGE	0000 0001	- .43 ~ 1 - 4 ~ +4	VARの速度範囲を設定します。 0 : - 0.43 ~ +1倍速の範囲でスロー再生します。 1 : ±4.1倍速の範囲で再生動作します。
301	IN/OUT DEL	0000 0001	MANU AUTO	編集点を誤って設定したとき(OUT点がIN点より前にあるとき)の動作を選択します。 0 : 不正な編集点を削除するか、正しく設定し直さないと編集を実行しません。 1 : あらかじめ入力されていた編集点を自動的に削除します。
302	NEGA FLASH	0000 0001	OFF ON	IN点がOUT点より大きい時、ネガティブ表示するかを選択します。 0 : ネガティブ表示をしません。 1 : ネガティブ表示をします。
303	STD/ NON-STD	0000 0001 0002	AUTO STD N-STD	コンポジット入力信号に合わせてSTDまたはNON-STDを選択します。 0 : スタンダード/ノンスタンダード信号を自動検出して処理します。 1 : スタンダード信号処理を行います。(強制STD) 2 : ノンスタンダード信号処理を行います。(強制NON-STD)
304	SERVO REF	0000 0001	AUTO EXT	サーボの同期する信号を選択します。 0 : 記録、編集時は入力信号に同期し、再生時はREF信号に同期します。 1 : 常にREF信号に同期します。
305	EDIT RPLCE1	0000 0001 0002 0003	N-DEF CH1 CH2 CH1+2	デジタルオーディオのエディットプリセットをコントローラする機能の無いコントローラで、VTRのデジタルオーディオを編集するとき、コントローラのアナログオーディオプリセットに対する各チャンネルの割り当てを設定します。VTRのCH1のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオにしたがってON/OFF設定します。 0 : 設定しません。 1 : アナログCH1エディットプリセットにしたがいます。 2 : アナログCH2エディットプリセットにしたがいます。 3 : アナログCH1、またはCH2エディットプリセットにしたがいます。
306	EDIT RPLCE2	0000 0001 0002 0003	N-DEF CH1 CH2 CH1+2	No.305と同じ設定内容で、VTRのCH2のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオにしたがってON/OFF設定します。 0 : 設定しません。 1 : アナログCH1エディットプリセットにしたがいます。 2 : アナログCH2エディットプリセットにしたがいます。 3 : アナログCH1、またはCH2エディットプリセットにしたがいます。
307	EDIT RPLCE3	0000 0001 0002 0003	N-DEF CH1 CH2 CH1+2	No.305と同じ設定内容で、VTRのCH3のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオにしたがってON/OFF設定します。 0 : 設定しません。 1 : アナログCH1エディットプリセットにしたがいます。 2 : アナログCH2エディットプリセットにしたがいます。 3 : アナログCH1、またはCH2エディットプリセットにしたがいます。

\_\_\_は工場出荷モードです。



# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < EDIT > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
308	EDIT RPLCE4	0000 0001 0002 0003	<u>N-DEF</u> CH1 CH2 CH1+2	No.305と同じ設定内容で、VTRのCH4のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオにしたがってON/OFF設定します。 0：設定しません。 1：アナログCH1エディットプリセットにしたがいます。 2：アナログCH2エディットプリセットにしたがいます。 3：アナログCH1、またはCH2エディットプリセットにしたがいます。
309	EDIT RPLCEC	0000 0001 0002 0003	<u>N-DEF</u> CH1 CH2 CH1+2	No.305と同じ設定内容で、VTRのCUEのエディットプリセットをエディタ、またはコントローラで指定したアナログオーディオにしたがってON/OFF設定します。 0：設定しません。 1：アナログCH1エディットプリセットにしたがいます。 2：アナログCH2エディットプリセットにしたがいます。 3：アナログCH1、またはCH2エディットプリセットにしたがいます。
310	CONFI EDIT	0000 0001	<u>OFF</u> ON	編集中に同時再生を行うかどうかを選択します。 0：同時再生を行いません。 1：同時再生を行います。 <ノート> TAPE/EE SWが「TAPE」側の場合に同時再生が有効になります。
311	AUD EDIT IN	0000 0001	<u>CUT</u> FADE	デジタルオーディオ編集IN点の繋ぎ方を選択します。 0：カット処理 1：Vフェード処理
312	AUD EDIT OUT	0000 0001	<u>CUT</u> FADE	デジタルオーディオ編集OUT点の繋ぎ方を選択します。 0：カット処理 1：Vフェード処理
313	AUTO ENTRY	0000 0001	<u>DIS</u> ENA	IN点が登録されていない場合に、PREROLLボタンでIN点を登録するかどうかを選択します。 0：登録しません。 1：登録します。
314	CF ADJ SEL	0000 0001	<u>PLAYER</u> RECORD	デッキ対デッキ編集時、CF補正するデッキを選択します。 0：PLAYERのIN/OUT点を補正します。 (RECORDER基準) 1：RECORDERのIN/OUT点を補正します。 (PLAYER基準)
315	AFTER CUE-UP	0000 0001	<u>STOP</u> STILL	キューアップ動作終了後の本機のモードを選択します。 0：STOPモードになります。 1：静止画(SHTL STILL)モードになります。
316	JOG RANGE	0000 0001	<u>- .43 ~ 1</u> - 4 ~ + 4	9Pリモート操作時のJOGの速度範囲を設定します。 0：- 0.43 ~ + 1倍速の範囲で再生します。 1：- 4.1 ~ + 4.1倍速の範囲で再生します。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < TAPE PROTECT >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
400	STILL TIMER	0000	0.5s	STOP、サーチSTILL( JOG/VAR/SHTL )の状態 で放置された時、テープ保護モードになる までの時間を選択します。 (単位 s : 秒、min : 分)
		0001	5s	
		0002	10s	
		0003	20s	
		0004	30s	
		0005	40s	
		0006	50s	
		0007	1min	
		0008	2min	
401	SRC PROTECT	0000	STEP	サーチモード( JOG/VAR/SHTL )のSTILL の状態 で放置された時のテープ保護モード時の 動作を選択します。 0 : STEP FWD 1 : HALF LOADING < ノート > STEP FWDが選択されているときに、 STILLの状態 で放置された合計時間が30分になると、 自動的にHALF LOADINGモードへ移行 します。
		0001	HALF	
402	DRUM STDBY	0000	OFF	スタンバイOFFモードの状態に移行した 時、ヘッドドラムを回転させるかどうか を選択します。 0 : 停止します。 1 : 回転します。
		0001	ON	

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

#### STILL TIMER設定のご注意

- 番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < TIME CODE >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
500	VITC BLANK	0000 0001	BLANK THRU	501: VITC POS-1、502: VITC POS-2で選択された位置にVITCデータを出力するかどうかを選択します。 0: 出力しません。 1: 出力します。
501	VITC POS-1	525モード 0000 } 0006 } 0010 } 625モード 0000 } 0004 } 0014 }	10L } 16L } 20L } 7L } 11L } 21L }	VITC信号の挿入位置を設定します。 (502: VITC POS-2と同じラインは選択できません。)
502	VITC POS-2	525モード 0000 } 0008 } 0010 } 625モード 0000 } 0006 } 0014 }	10L } 18L } 20L } 7L } 13L } 21L }	VITC信号の挿入位置を設定します。 (501: VITC POS-1と同じラインは選択できません。)
503	TCG REGEN	0000 0001 0002	TC&UB TC UB	TCG(タイムコードジェネレータ)がREGENモードの時、REGENする信号を選択します。 0: タイムコード、ユーザービット共にREGENします。 1: タイムコードのみREGENします。 2: ユーザービットのみREGENします。
504	REGEN MODE	0000 0001 0002 0003	AS&IN ASSEM INSRT SW	本機のコントロールパネルを使用した自動編集で、タイムコードをREGENするかどうかを選択します。 0: アセンブルまたはインサート編集でREGENします。 1: アセンブル編集でREGENします。 2: インサート編集でREGENします。 3: REGEN/PRESETスイッチに従います。
505	EXT TC SEL	0000 0001	LTC VITC	外部タイムコードを用いる際、使用するタイムコードを選択します 0: TIME CODE IN端子のLTC を使用します。 1: ビデオ信号のVITCを使用します。
506	BINARY GP	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007	000 001 010 011 100 101 110 111	TCGで発生するタイムコードのユーザービットの使用状態を設定します。 0: NOT SPECIFIED(キャラクタセットを指定しない) 1: ISO CHARACTER(ISO646、ISO2022に準拠した8bitキャラクタセット) 2: UNASSIGNED 1(未定義) 3: UNASSIGNED 2(未定義) 4: UNASSIGNED 3(未定義) 5: PAGE/LINE 6: UNASSIGNED 4(未定義) 7: UNASSIGNED 5(未定義)

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < TIME CODE > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
507	PHASE CORR	0000 0001	OFF ON	TCGで発生するLTCの位相補正コントロールを行うかどうかを選択します。 0 : 位相補正コントロールは行いません。 1 : 位相補正コントロールを行います。
508	TCG CF FLAG	0000 0001	OFF ON	TCGのCFフラグをONするかどうかを選択します。 0 : CFフラグをOFFします。 1 : CFフラグをONします。
509	DF MODE	0000 0001	DF NDF	CTLおよびTCGのDF/NDFを選択します。 0 : ドロップフレームモード 1 : ノンドロップフレームモード < ノート > • DF MODEはLOCALまたは項目004のLOCAL ENAが「ENA」の時有効です。 • 625モード時は、このセットアップメニューは表示しません。
510	TC OUT REF	0000 0001	V OUT TC IN	TC INT/EXT SWが「EXT」の時、外部LTC入力に対してTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相を切換えます。(EEモード時のみ) 0 : 出力映像に合わせます。 1 : 外部タイムコード入力に合わせます。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < VIDEO >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
600	INT SG	0000 0001 0002	OFF BB CB	内蔵の信号を発生させるかどうかを選択します。 0 : 発生させません。 1 : ブラックバーストを発生させます。 2 : 100%カラーバーを発生させます。
601	OUT VSYNC	0000 0001	N-VF VF	EE/記録/編集の際に、映像出力の位相を入力に合わせるため、映像出力のVシンク位置をフロートさせるかどうかを選択します。 0 : フロートさせません。 1 : フロートさせます。
602	V-MUTE SEL	0000 0001	N-MUTE LOW RF	再生中にLOW RFが検出された場合、ビデオ出力信号をミュートするかどうかを選択します。 0 : ミュートしません。(フリーズします。) 1 : ミュートします。(灰色にします。)
603	CC (F1) BLANK	0000 0001	BLANK THRU	第1フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
604	CC (F2) BLANK	0000 0001	BLANK THRU	第2フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
605	FREEZE SEL	0000 0001	FIELD FRAME	静止画面のフリーズ状態を選択します。 0 : フィールドフリーズ 1 : フレームフリーズ <ノート> フレームフリーズを選択した場合はスロー時もフレームスローになります。
606	OUT C KILL	0000 0001	B/W COLOR	ビデオ出力信号のクロマのカラーキラー処理を選択します。 0 : 強制的にB/W処理を行います。 1 : 自動処理を行います。
607	V OUT SETUP	0000 0001	THRU ADD	コンポジット出力信号を選択します。 0 : セットアップを付加せずに出力します。 1 : 7.5%セットアップを付加して出力します。 <ノート> 625モード時はこのセットアップメニューは表示されません。
608	SDI OUT SEL	0000 0001	COMPNT COMPST	SERIAL OUTの信号フォーマットを選択します。 0 : コンポーネント4:2:2信号を出力します。 1 : コンポジット信号を出力します。
609	EDH	0000 0001	OFF ON	シリアルアウトにEDHを重畳するかどうかを選択します。 0 : 重畳しません。 1 : 重畳します。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < VIDEO > ( つづき )

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
610	PB/PR IN LV	0000 <u>0001</u>	MII B-CAM	コンポーネント入力信号のレベルを選択します。 0 : MIIレベル 1 : -camレベル
611	INPUT C KILL	0000 <u>0001</u>	B/W AUTO	ビデオ入力信号のカラーキラー処理を選択します。 0 : 強制的にB/W処理を行います。 1 : 自動処理を行います。
612	IN FRM DET	0000 <u>0001</u>	FORCED AUTO	入力時のフレーム検出を選択します。 0 : 常にフレーム検出を行います。 1 : NON STD信号の時のみフレーム検出を禁止します。
613	VIN SETUP	<u>0000</u> 0001	THRU CUT	セットアップ有無のコンポジット信号の記録のしかたを選択します。 0 : セットアップ無しの場合。 1 : 7.5%セットアップ付きの場合。 <ノート> ●625モード時はこのセットアップメニューは表示されません。 ●コンポジット信号を記録する場合、セットアップの有無を十分確かめて記録してください。
614	Pb/Pr OUT LV	0000 <u>0001</u>	MII B-CAM	アナログコンポーネント出力レベルを選択します。 0 : MIIレベル 1 : -CAMレベル <ノート> 625モード時はこのセットアップメニューは表示されません。
617	WFM SEL	0000 0001 <u>0002</u> 0003 0004 0005 0006 0007	CTL TC VIDEO SYNC RF-L RF-R ENV-L ENV-R	VIDEO OUT2出力端子から各種信号を出力することができます。 0 : CTL信号を出力します。 1 : TIME CODE信号を出力します。 2 : VIDEO OUT信号を出力します。 3 : SYNC信号を出力します。 4 : PB L RF信号を出力します。 5 : PB R RF信号を出力します。 6 : PB L ENV信号を出力します。 7 : PB R ENV信号を出力します。 <ノート> SYNC信号を出力する場合はオプションボード(AJ-YA950またはAJ-YA952)が必要です。

<ノート>  
オプションボード(AJ-YA950またはAJ-YA952)が挿入されていない場合は、セットアップメニューNo.610~614は表示されません。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < AUDIO >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
700	INT SG	0000 0001	___OFF ___ON	内蔵の信号を発生させるかどうかを選択します。 0 : 発生させません。 1 : 発生させます。
701	CH1 IN LV	0000 0001 0002	4dB ___0dB ___-20dB	オーディオ入力(CH1)の基準レベル切換えを選択します。
702	CH2 IN LV	0000 0001 0002	4dB ___0dB ___-20dB	オーディオ入力(CH2)の基準レベル切換えを選択します。
703	CH3 IN LV	0000 0001 0002	4dB ___0dB ___-20dB	オーディオ入力(CH3)の基準レベル切換えを選択します。
704	CH4 IN LV	0000 0001 0002	4dB ___0dB ___-20dB	オーディオ入力(CH4)の基準レベル切換えを選択します。
705	CUE IN LV	0000 0001 0002 0003	4dB ___0dB ___-20dB ___-60dB	オーディオ入力(CUE)の基準レベル切換えを選択します。
706	CH1 OUT LV	0000 0001 0002	4dB ___0dB ___-20dB	オーディオ出力(CH1)の基準レベル切換えを選択します。
707	CH2 OUT LV	0000 0001 0002	4dB ___0dB ___-20dB	オーディオ出力(CH2)の基準レベル切換えを選択します。
708	CH3 OUT LV	0000 0001 0002	4dB ___0dB ___-20dB	オーディオ出力(CH3)の基準レベル切換えを選択します。
709	CH4 OUT LV	0000 0001 0002	4dB ___0dB ___-20dB	オーディオ出力(CH4)の基準レベル切換えを選択します。
710	CUE OUT LV	0000 0001 0002	4dB ___0dB ___-20dB	オーディオ出力(CUE)の基準レベル切換えを選択します。
711	MONIL OUT LV	0000 0001 0002	4dB ___0dB ___-20dB	オーディオモニター出力(Lch)の基準レベル切換えを選択します。
712	MONIR OUT LV	0000 0001 0002	4dB ___0dB ___-20dB	オーディオモニター出力(Rch)の基準レベル切換えを選択します。
713	MONI OUT	0000 0001	UNITY ___VAR	オーディオモニター出力のUNITY/VARIABLE基準切換えを選択します。 0 : 既定値にて出力します。 1 : ヘッドホンVRに連動します。
714	EMPHA- SIS	0000 0001	___OFF ___ON	エンファシスのON/OFFを設定します。
715	CH1 IN SEL	0000 0001	ANA ___DIGI	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH1入力を選択します。 0 : アナログ入力 1 : デジタル

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < AUDIO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
716	CH2 IN SEL	0000 0001	ANA DIGI	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH2入力を選択します。 0：アナログ入力 1：デジタル
717	CH3 IN SEL	0000 0001	ANA DIGI	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH3入力を選択します。 0：アナログ入力 1：デジタル
718	CH4 IN SEL	0000 0001	ANA DIGI	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH4入力を選択します。 0：アナログ入力 1：デジタル
719	DIGI IN SEL12	0000 0001	AES SIF	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH1およびCH2のデジタル入力を選択します。 0：AES 1：シリアル
720	DIGI IN SEL34	0000 0001	AES SIF	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH3およびCH4のデジタル入力を選択します。 0：AES 1：シリアル
721	MONI CH SEL	0000 0001 0002	MANU AUTO1 AUTO2	モニター出力の選択を行います。 0：MONITOR SELECTで選択されていたものを出力します。 1：-0.43～+1の範囲はPCM AUDIO、それ以外は自動的にCUEを出力します。 2：PLAYモードはPCM AUDIO、それ以外は自動的にCUEを出力します。
722	REC CH1	0000 0001 0002	CH1 CH2 CH1+2	オーディオのCH1トラックに記録する入力を選択します。 0：オーディオ入力のCH1 1：オーディオ入力のCH2 2：オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号
723	REC CH2	0000 0001 0002	CH1 CH2 CH1+2	オーディオのCH2トラックに記録する入力を選択します。 0：オーディオ入力のCH1 1：オーディオ入力のCH2 2：オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号
724	REC CH3	0000 0001 0002	CH3 CH4 CH3+4	オーディオのCH3トラックに記録する入力を選択します。 0：オーディオ入力のCH3 1：オーディオ入力のCH4 2：オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
725	REC CH4	0000 0001 0002	CH3 CH4 CH3+4	オーディオのCH4トラックに記録する入力を選択します。 0：オーディオ入力のCH3 1：オーディオ入力のCH4 2：オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
726	REC CUE	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006	CUE CH1 CH2 CH1+2 CH3 CH4 CH3+4	CUEに記録する入力信号を選択します。 0：CUE IN 1：オーディオCH1入力 2：オーディオCH2入力 3：オーディオCH1とCH2のミックス信号 4：オーディオCH3入力 5：オーディオCH4入力 6：オーディオCH3とCH4のミックス信号
727	PB FADE	0000 0001 0002	AUTO CUT FADE	再生時に音声編集点(IN点、OUT点)の処理をどのように行うかを選択します。 0：記録時の状態にしたがいます。 1：強制CUT 2：強制FADE

\_\_\_は工場出荷モードです。



# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < AUDIO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
728	EMBEDDED AUD	0000 0001	___OFF ON	シリアル出力にオーディオデータを重畳するかどうかを選択します。 0 : 重畳しません。 1 : 重畳します。
729	MONITOR MIX L	0000 0001 0002	___OFF CH1+2 CH3+4	ヘッドホンモニターにミックス信号を選択できます。 0 : ミックスしません。 1 : CH1/CH2をミックスしてLchに出力します。 2 : CH3/CH4をミックスしてLchに出力します。
730	MONITOR MIX R	0000 0001 0002	___OFF CH1+2 CH3+4	ヘッドホンモニターにミックス信号を選択できます。 0 : ミックスしません。 1 : CH1/CH2をミックスしてRchに出力します。 2 : CH3/CH4をミックスしてRchに出力します。
731	CUE OUT SEL	0000 0001	___OFF ON	サーチモード時、本線系出力にCUE AUDIOを出力するかを選択します。 0 : CUE AUDIOを出力しません。 1 : CUE AUDIOを出力します。 (ただし、セットアップメニューNo.721(MONI CH SEL)でMANU以外を選択した場合にかぎりませぬ。)

\_\_\_は工場出荷モードです。

## AJ-PD950 USER メニュー

AJ-PD950をご使用の場合には以下のセットアップメニューが表示されます。

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
012	SYS FORMAT	0000 0001 0002	422 411 420P	本機の記録・再生フォーマットを設定します。 0 : 422(50M)を選択します。 1 : 411(25M)を選択します。 2 : 420Pを選択します。 <ノート> ●411モードでは編集は行えません。 ●625モード時は、420Pの選択はできません。
608	SDI OUT SEL	0000 0001 0002	COMPNT COMPST 420P	SERIAL OUTの信号フォーマットを選択します。 0 : コンポーネント4:2:2信号を出力します。 1 : コンポジット信号を出力します。(オプション) 2 : コンポーネント4:2:2P信号を出力します。
615	844/422 SEL	0000 0001	422 844	プログレッシブモード時、アナログコンポーネント出力信号を選択します。 0 : ダウンコンバータ出力(インターレース) 1 : プログレッシブ出力(ノンインターレース) <ノート> ●422選択時、セットアップメニューNo.616(OUT MATRIX)の設定は強制的に「YPbPr」になります。 ●844選択時、セットアップメニューNo.614(Pb/Pr OUT LV)の設定は強制的に「MII」になります。 ●625モード時はこのセットアップメニューは表示されませぬ。
616	OUT MATRIX	0000 0001	___YPbPr RGB	アナログコンポーネント出力信号の種類を選択します。 0 : YPbPr 1 : RGB

<ノート>  
オプションボード(AJ-YA950またはAJ-YA952)が挿入されていない場合は、セットアップメニューNo.615~No.616は表示されませぬ。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# タイムコード / ユーザービットについて

---

## タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレータ(タイムコード信号発生器)によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー(タイムコード信号読取器)でその値を読み取り、テープの絶対位置を時:分:秒:フレーム単位で表示するときに使用します。

タイムコードはヘリカルトラックのサブコード領域(データ領域)へ書き込まれます。このために、タイムコードだけ独立してインサート編集が行えます。また、VTRの再生速度が停止モード スロー再生 高速再生(約50倍速、ただしDVCPROテープ使用時は約100倍速)まで読み取ることができます。

タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24

時 分 秒 フレーム

## ユーザービット

ユーザービットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット(8桁)の情報枠のことです。オペレータナンバーなどを記録することができます。

ユーザービットに使用できる数字(文字)は0~9とA B C D E Fです。

# 内部 / 外部タイムコードの記録

---

## 1 内部タイムコードの設定

1 VTRを停止モードにします。

2 TC/CTLスイッチを「TC」にします。

3 TC INT/EXTスイッチを「INT」にします。(内部タイムコードの選択)

4 REC RUN/FREE RUNスイッチの設定

REC RUN : 記録と同時にタイムコードが歩進します。

FREE RUN : VTRの動作にかかわらず、時刻と同じように歩進します。

5 REGEN/PRESETスイッチの設定

REGEN : 編集前の下地のTCの連続性を保ちます。

(メニュー設定で、詳細な設定もできますので参考してください。)

セットアップメニューNo.503(TCG REGEN)

セットアップメニューNo.504(REGEN MODE)

PRESET : TC SETボタンで設定された値から記録を開始します。

●自動編集時はPRESETの位置でもメニューNo.504の設定によりREGENします。

6 TC SETボタンの設定

TC SETボタンを使ってタイムコード/ユーザービットの開始番号を設定します。

1. SHIFTボタンを押します。

左端の桁が点滅します。

2. ADJボタンを押して値を変更します。

押すたびに、番号は変化します。設定範囲は次のとおりです。

●タイムコードおよびユーザービットの実時間使用の場合

00:00:00:00 - 23:59:59:29

●ユーザービット

00:00:00:00 - FF FF FF FF

3. ステップ1と2を繰り返して、値を変更します。

4. 開始番号の設定が終わると、STARTボタンを押します。

「FREE RUN」モードの場合には、タイムコードを歩進します。

5. 記録または編集を行います。

## 2 外部タイムコードの設定(TC SW EXT)

1 VTRを停止モードにします。

2 TC/CTLスイッチを「TC」にします。

3 TC INT/EXTスイッチを「EXT」にします。(外部タイムコードの選択)

4 セットアップメニューNo.505(EXT TC SEL)で以下の設定ができます。

LTC : 後面ジャック板TIME CODE IN端子(XLR)に入力されるLTC信号がTCとして記録されます。

<ノート> LTCはビデオ信号と同期している必要があります。

VITC : 入力ビデオ信号のVITCがTCとして記録されます。

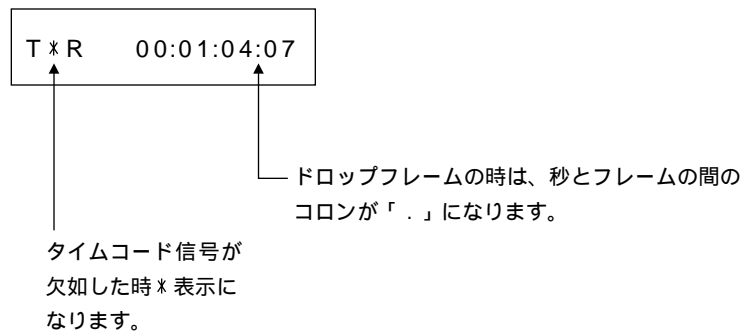
# タイムコード / ユーザービットの再生

---

- 1 STOPモードにします。
- 2 TC/CTLボタンを「TC」にします。
- 3 TC/UB スイッチを「TC」または「UB」にします。  
TC : タイムコードが表示されます。  
UB : ユーザービットが表示されます。
  - タイムコードが読み取れなくなった場合は、CTLで補間します。
- 4 PLAYボタンを押します。  
再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。  
セットアップメニューNo.007( SUPER が「ON」)の場合、VIDEO OUT 3 端子からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。

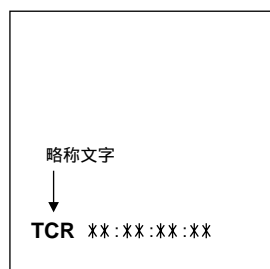
< ノート >

- ドロップフレームタイムコードを読んでいる時は、秒とフレームの間のコロンがピリオドに変わります。
- タイムコード信号が欠如したときにはCTL信号で自動的に補います。  
ディスプレイは以下ようになります。



# スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが略称文字で表示されます。

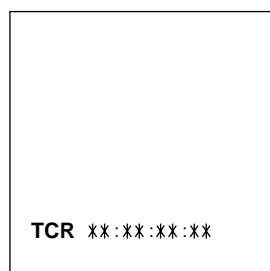


モニターテレビ

- CTL (コントロール信号)
- TCR (TCタイムコードの再生値)
- UBR (TCユーザービットの再生値)

## 表示文字

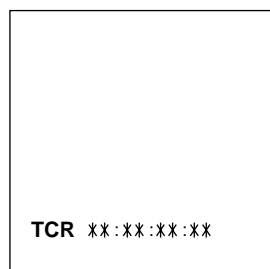
スーパーインポーズの表示文字は、セットアップメニューNo.011(CHARA TYPE)で文字の背影を変えることができます。



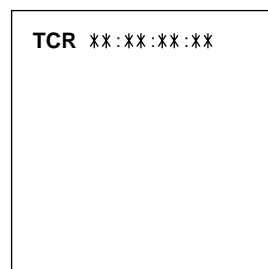
モニターテレビ

## 表示位置

スーパーインポーズの表示位置はセットアップメニューNo.009(CHARA H-POS)とセットアップメニューNo.010(CHARA V-POS)で変えることができます。



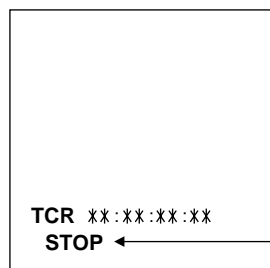
モニターテレビ



モニターテレビ

## 動作モード

セットアップメニューNo.008(DISPLAY SEL)でVTRの動作モードも表示されます。

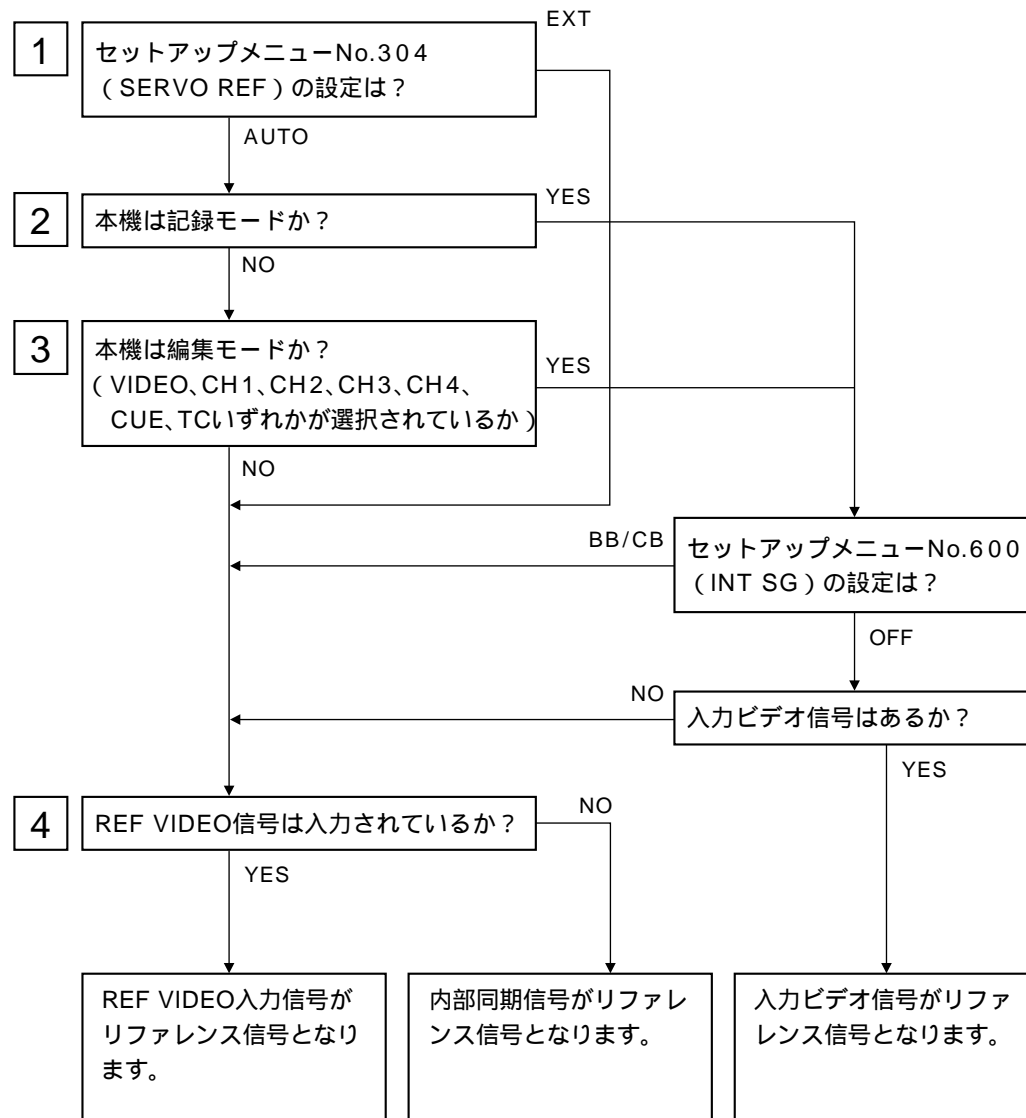


モニターテレビ

# サーボリファレンス

本機はサーボ用のリファレンス(基準)信号としてINPUTスイッチで選択した入力ビデオ信号、REF VIDEO入力端子より入力したリファレンスビデオ信号、またはINTのいずれかを自動的に選択します。

選択の時は下記のフローチャートのように、本機のモードとサーボリファレンスの設定が関係します。



## サーボリファレンス設定表

サーボリファレンス信号は、サーボリファレンス、デッキのモードおよび入力信号の有無に応じて、下表のように切換えられます。再生および記録でのリファレンス(基準)が一致していないと、編集および記録再生のモード移行時、画像が乱れたり、移行が遅れたりすることがあります。

### 再生または特殊再生時

セットアップメニュー No.304( SERVO REF)の位置	入力信号の状態		リファレンス信号 (サーボ基準)
	VIDEO IN信号	REF IN信号	
AUTO			REF IN信号
		×	内部同期信号
	×		REF IN信号
	×	×	内部同期信号
EXT			REF IN信号
		×	内部同期信号
	×		REF IN信号
	×	×	内部同期信号

### 記録または編集時

セットアップメニュー No.304( SERVO REF)の位置	入力信号の状態		リファレンス信号 (サーボ基準)
	VIDEO IN信号	REF IN信号	
AUTO			VIDEO IN信号
		×	VIDEO IN信号
	×		REF IN信号
	×	×	内部同期信号
EXT			REF IN信号
		×	内部同期信号
	×		REF IN信号
	×	×	内部同期信号

は信号が入力されている。×は信号が入力されていない。

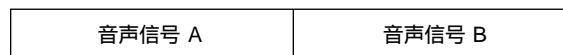
セットアップメニューNo.600で「BB」または「CB」に設定し、INTERNAL SGが選択されている時のサーボ基準は、REF IN信号がある時はREF IN信号、REF IN信号がない時は内部同期信号となります。

# 音声 V フェード機能

---

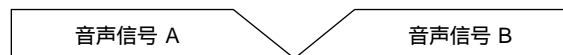
編集時、編集点の繋ぎ方の選択(セットアップメニューNo.311、312)の情報をテープ上に記録し、再生時にその情報を感知しその部分を自動的にVフェード/カット処理します。(ただし、再生フェード選択(No.727)がAUTOの場合)

編集点の繋ぎ方の選択(セットアップメニューNo.311、No.312)がCUTの場合



編集の繋ぎ目でノイズがでます。

編集点の繋ぎ方の選択(セットアップメニューNo.311、No.312)がFADEの場合



瞬間的にVフェードにして、ノイズを消します。

< ノート >

- 再生フェード選択(No.727)がCUTの場合、全ての繋ぎ目がCUTになります。
- 再生フェード選択(No.727)がFADEの場合、全ての繋ぎ目がVフェードします。



# 音声の記録チャンネルとモニター出力の選択

## 音声の記録チャンネル

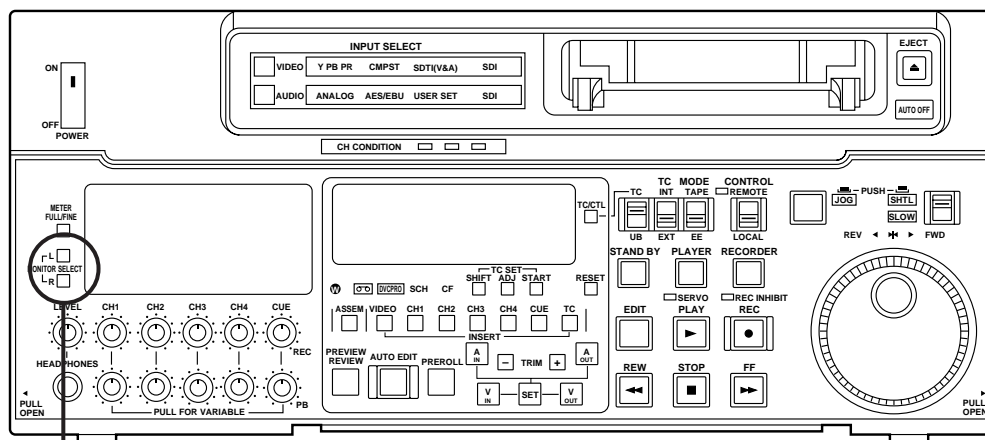
AUDIOのセットアップメニューにより以下のように音声を選択できます。

記録トラック	記録信号
CH1	CH1入力/CH2入力/CH1入力+CH2入力
CH2	CH1入力/CH2入力/CH1入力+CH2入力
CH3	CH3入力/CH4入力/CH3入力+CH4入力
CH4	CH3入力/CH4入力/CH3入力+CH4入力
CUE	CH1入力/CH2入力/CH3入力/CH4入力/CH1入力+CH2入力/CH3入力+CH4入力

## モニター出力チャンネル

MONITOR SELECTスイッチにより以下のように選択できます。

モニター出力	出力信号
L	CH1/CH2/CH3/CH4/CH1+CH2/CH3+CH4/CUE
R	CH1/CH2/CH3/CH4/CH1+CH2/CH3+CH4/CUE



MONITOR SELECT スイッチ

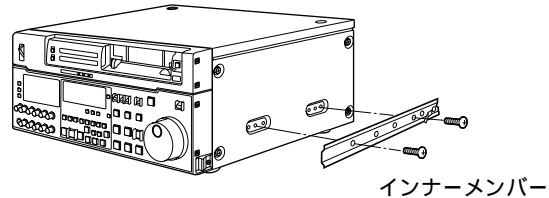
# 回路板

回路板	略称名	フルネーム	設定目的	初期設定
F8基板 ADDA1	SW1	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH1のAUDIO入カインピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	HIGH
	SW41	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH2のAUDIO入カインピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	HIGH
	SW101	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH3のAUDIO入カインピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	HIGH
	SW141	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH4のAUDIO入カインピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	HIGH
H1基板 CUE	SW101	CUE INPUT IMPEDANCE SW	CUE入カインピーダンスを設定します。 HIGH/600Ω	HIGH

# ラックマウント

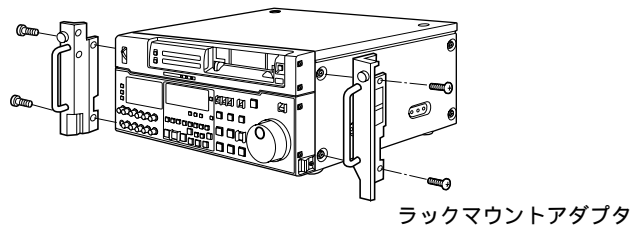
本機はラックマウントアダプタAJ-MA75P(別売品)をご使用になりますと19インチ標準ラックマウントに組み込むことができます。取り付けレールは、(株)ウインステッド・ジャパン社製MODEL. 8211のレールとブラケットを使用することをお薦めします。詳しくは購入店にご相談ください。

- 1 本機の左右のネジを外します。
- 2 外したネジで、スライドレールのインナーメンバーを取り付けます。

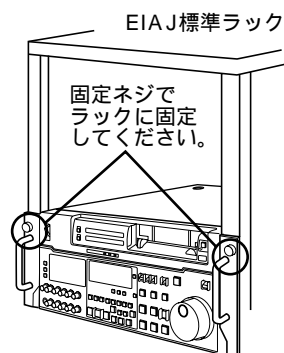


使用するネジは、長さ制限があります。取り付けネジを紛失した場合は、長さ10ミリ以下のものをご使用ください。  
インナーメンバーは、必ず4個ネジ止めしてください。

- 3 アウターメンバーのブラケットをラックに取り付けます。  
左右の高さが同じであることを確認してください。
- 4 付属のビス4個でラックマウントアダプタAJ-MA75Pを取り付けます。



- 5 本機底面のゴム足(4ヶ所)を外し、本機をラックに取り付けます。  
本機取り付け後、レールの上でスムーズに移動できることを確認します。



< ノート >

- ラック内の温度は5 ~ 40 に保ってください。
- VTR を引き出したとき倒れないようにラックはしっかりと床にボルトで固定してください。

# ビデオヘッドクリーニング

---

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能がついていますが、より信頼性を高めるために毎日ビデオヘッドを清掃することをお薦めいたします。クリーニング液は当社指定のものをご使用ください。

## 結露

---

露つきが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴(露)がつくのと同一原理です。本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気がたちこもる湿度の多いところや暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このような所へ移動したときは、すぐ電源を入れずに10分程度放置したまでお待ちください。もし、本機に結露が発生したときは、AUTO OFFランプが点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま、電源を入れた状態で、AUTO OFFランプが消えるまでお待ちください。

## お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は柔らかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞って拭きます。汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

# エラーメッセージ

本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯します。

ダイアグメニューを開くとカウンタ表示部、モニターテレビにその内容を表示します。また、本機の動作に異常が発生すると、AUTO OFFランプが点灯し、カウンタ表示部にメッセージを表示します。

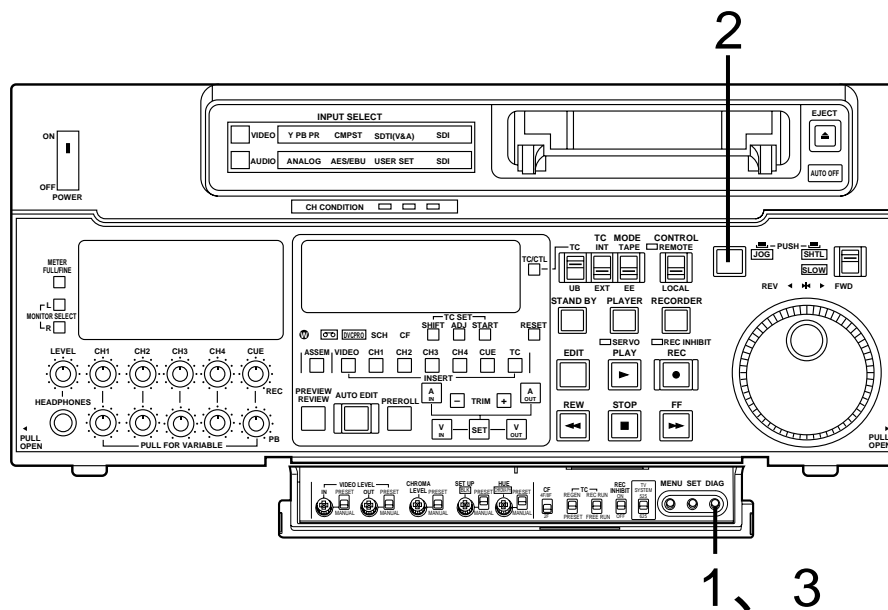
## ダイアグメニュー

VTRの情報を表示します。

VTRの情報にはワーニング情報とアワーメータ(使用時間)情報があります。モニターテレビとコネクタ部のVIDEO OUT3端子と接続している場合は、モニターテレビにダイアグメニューが出ます。

### ダイアグメニューの表示

- 1 DIAGボタンを押します。  
モニターテレビにダイアグメニューの画面が、カウンタ表示部にメッセージがそれぞれ表示されます。
- 2 サーチボタンを押すたびに、ワーニング情報とアワーメータ情報の表示が切り替わります。
- 3 再度DIAGボタンを押すと元の表示に戻ります。



### ワーニング情報の表示

- ワーニング発生(ワーニングランプ点灯)時は、ワーニングメッセージを表示します。ワーニングが発生していない場合は、「NO WARNING」を表示します。
- 複数のワーニングが発生している場合は、サーチダイヤルを回すと各内容を確認することができます。

## アワーメータ情報の表示

サーチダイヤルを回すと、カーソル( \* )が移動し、カーソルのある項目の内容をカウンタ表示部に表示します。

項目No.	項目	内容
H00	OPERATION	電源が投入されている時間を1時間単位で表示します。
H01	DRUM RUN	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。
H02	TAPE RUN	FF、REW、PLAY、SEARCH (JOG、VAR、SHTL)、REC、EDITモード時(ただし、JOG、VAR、SHTL STILLは除く)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。
H03	THREADING	スレッティング/アンスレッティングの回数を1回単位で表示します。
H11	DRUM RUN r	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。(リセット可能)
H12	TAPE RUN r	FF、REW、PLAY、SEARCH (JOG、VAR、SHTL)、REC、EDITモード時(ただし、JOG、VAR、SHTL STILLは除く)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。(リセット可能)
H13	THREADING r	スレッティング/アンスレッティングの回数を1回単位で表示します。(リセット可能)
H30	POWER ON	電源が投入された回数を1回単位で表示します。

< ノート >

- アワーメータ情報のリセット可能な項目は、メンテナンスを行った場合等に販売店によりリセットします。
- ダイアグメニュー表示中は、サーチボタンおよびサーチダイヤルによる操作はできなくなります。

セットアップメニューNo.008(DISPLAY SEL)でT&S&Mが選択されている場合、ワーニングまたはエラー発生時、モード表示部にメッセージを表示します。複数発生時は優先順位の高いものが表示されます。

優先順位	表示	内容
高い ↑ ↓ 低い	エラーメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機の動作に異常が発生するとAUTO OFFランプが点灯し、エラーメッセージを表示します。
	INT SG	セットアップメニューNo.600(INT SG)で「BB」または「CB」が選択されている場合に、RECボタンまたはEDITボタンを押すと(E-Eモード)、開始2秒間表示されます。編集の開始時2秒間も同様に表示されます。
	NO INPUT	アナログオーディオを除き、INPUT SELECTスイッチにより選択されている端子に入力信号が無い場合に、RECボタンまたはEDITボタンを押すと(E-Eモード)、開始2秒間表示されます。編集の開始時2秒間も同様に表示されます。
	ワーニングメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯し、ワーニングメッセージを表示します。複数のワーニングが発生している場合は、優先順位の高いものを表示します。

## ワーニングメッセージ

優先順位	カウンタ表示部およびモニターテレビの表示	内容	VTRの動作
高い ↑ ↓ 低い	FAN STOP	ファンモータが停止した場合に表示します。	動作継続
	SERVO NOT LOCKED	再生、記録、編集時、サーボが3秒以上外れた場合に表示します。	動作継続
	LOW RF	再生、記録、編集時にエンベレベルが通常の約1/3の状態を1秒以上検出した場合に表示します。	動作継続
	HIGH ERROR RATE	エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった場合に表示します。	動作継続

# エラーメッセージ (AUTO OFF ランプ点灯)

カウンタ表示部の表示	モニターテレビの表示	内 容	VTR( 処置 )の動作
CAP ROTATE TOO SLOW	CAP ROTA TOO SLOW	キャプスタンモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
CAP TENSION ERROR	CAP TENSION ERROR	キャプスタンモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
DEW	DEW	結露を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅しEJECTモードへ移行します。EJECT後、結露を除去するためにドラムが回転します。 結露が解除されると、「AUTO OFF」ランプ、メッセージ表示が消えVTRは使用可能となります。 ● EJECTモードで結露を検出すると、その時点でドラムが回転します。 ● カセットが挿入されているときに結露を検出すると、ドラムの回転を止め、EJECT後にドラムが回転します。	EJECT
DRUM ROTATE TOO FAST	DRUM ROTA TOO FAST	シリンダモータの回転数が異常に高い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
DRUM ROTATE TOO SLOW	DRUM ROTA TOO SLOW	シリンダモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
E-FF	E-FF	ローディング途中または、ローディング完了後に、テープ始端及びテープ終端を同時に検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
FRONT LOAD ERROR	FRONT LOAD ERROR	ローディング途中 ( ハーフポジション ) の終始端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りした場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
FRONT LOAD MOTOR	FRONT LOAD MOTOR	EJECTモードに移行し6秒経過してもカセットアップしない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 < ノート > カセット挿入後、6秒経過してもカセットダウンにならない場合、EJECTモードへ移行します。	停止 ( POWER OFF ON )
LOADING MOTOR	LOADING MOTOR	アンローディング動作が6秒以内に完了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 < ノート > ローディング動作が6秒以内に完了しない場合、EJECTモード ( アンローディングモード ) へ移行します。	停止 ( POWER OFF ON )
REEL DIR UNMATCH	REEL DIR UNMATCH	巻き取り側のリールモータが逆転した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )

カウンタ表示部の表示	モニターテレビの表示	内 容	VTR( 処置 )の動作
REEL TENSION ERROR	REEL TENSION ERROR	リールモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
SERVO COMM ERROR	SERVO COMM ERROR	サーボマイコンが10秒経過しても、システムコントロールマイコンの指示に従わない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
SERVO CONTROL ERROR	SERVO CONTROL ERR	サーボマイコンからの応答が1秒以上ない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
SERVO ERROR	SERVO ERROR	瞬停等でサーボマイコンのみRESETがかかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
S-FF/REW TIMEOVER	S-FF/REW TIMEOVER	始末端処理動作が終了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
S REEL ROTA TOO FAST	S REEL TOO FAST	Sリールモータの回転が異常に速い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
S REEL TORQUE ERROR	S REEL TORQUE ERR	Sリールモータに異常トルクがかかっている事を検出した場合。若しくは、電流検出抵抗に異常電流が流れていることを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
T REEL ROTA TOO FAST	T REEL TOO FAST	Tリールモータの回転が異常に速い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
T REEL TORQUE ERROR	T REEL TORQUE ERR	Tリールモータに異常トルクがかかっている事を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
UNLOAD ERROR	UNLOAD ERROR	アンローディング時テープを巻き取らなかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
WINDUP ERROR	WINDUP ERROR	テープ総量検出後、テープ走行中、巻き取り側リールのテープ巻き取り量と、送り出し側リールのテープ送り出し量が、異常に異なった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
WINDUP REEL NOT ROTA	W-UP REEL NOT ROTA	カセット挿入後、テープ総量未検出状態でテープ走行中、テープ巻き取り側リールがテープ巻き取っていない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )



# RS-232C インターフェイス

## 1. 概要

(1) RS-232Cインターフェイスを使用することにより、コマンドによるVTR操作が可能になります。  
(84～86ページのコマンド一覧をご参照ください。)

(2) RS-232Cインターフェイスからのコマンド受け付け条件

フロントパネルのREMOTE/LOCAL SW : REMOTE

セットアップメニュー項目No. 204「RS232C SEL」: ON

上記条件が成立していない場合は、外部に対して[ACK]+[STX] ER001 [ETX]の返答を行います。

[ACK]の返信をするかしないかは、セットアップメニュー項目No.209「RETURN ACK」の設定にしたいがいます。

## 2. ハードウェア仕様

### 外部インターフェイス仕様

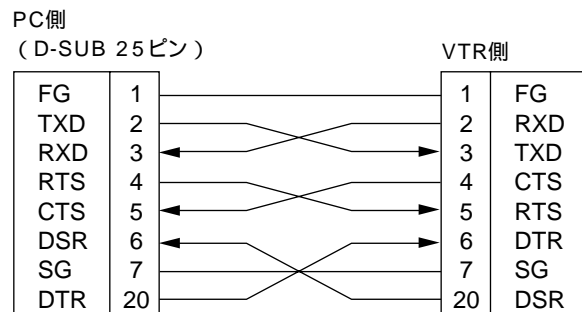
(1) 端子仕様

コネクタ : D-SUB 25ピン(クロスケーブル対応)

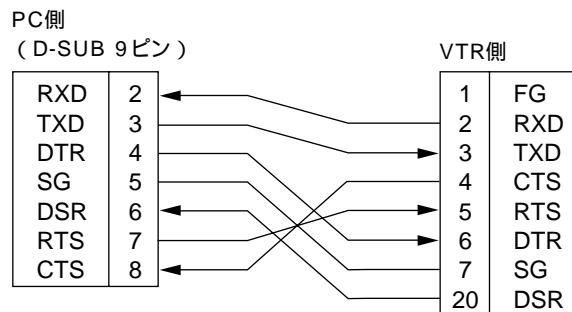
ピン配列	信号	回路名称	内容
1	FG	保安用接地	フレームグラウンド
2	RXD	受信データ	PCへデータを送信する
3	TXD	送信データ	PCからデータを受信する
4	CTS	送信可	5番ピンと短絡
5	RTS	送信要求	4番ピンと短絡
6	DTR	データ端末レディ	未処理
7	SG	信号用接地	信号用GND
20	DSR	データ・セット・レディ	通信可能状態後正電圧出力

(2) コントローラ(PC)との接続例

(D-SUB 25ピン クロスケーブルを使用)



(D-SUB 9ピン-25ピン クロスケーブルを使用)



# RS-232C インターフェイス

## 3. ソフトウェア仕様

### プロトコル

#### (1) 通信条件

通信方式	調歩同期式・全二重
通信速度	300/600/1200/2400/4800/9600
ビット長	7 bit/8 bit
ストップビット	1 bit/2 bit
パリティビット	NONE/ODD/EVEN
ACKコード	ACKコードを返信しない/ACKコードを返信する <ノート> ACKコードとは、コントローラ側から正常なデータの送信があった場合、VTR側からコントローラに対して返信するコードのことです。

工場出荷時の設定は、\_\_\_\_\_ で示しています。

設定の変更は、下記のセットアップメニュー項目で変更できます。

通信条件	セットアップメニュー項目
通信速度	No.205 BAUD RATE
ビット長	No.206 DATA LENGTH
ストップビット	No.207 STOP BIT
パリティビット	No.208 PARITY
ACKコード	No.209 RETURN ACK

#### (2) 送信フォーマット[コントローラ(PC) VTR]

##### データフォーマット

[STX] [command] [:] [data] [ETX]

02h XX XX XX 3Ah XX-XX 03h (ASCIIコード:記号、数字、英大文字)

20h<XX<7Fh

- [command] : コマンド識別子です。  
コマンドとして3バイトの識別子(ASCIIコード:記号、数字、英大文字)を送信します。
- [:] : コロンは、コマンドとデータとの区切りを意味するコードです。
- [data] : 必要なバイト数のデータ(ASCIIコード:記号、数字、英大文字)を付け加えることができます。

##### コントローラからの送信手順概略

1. 送信コマンドは、STX(START OF TEXT = 02h)で始まります。次に続くCOMMANDによりコマンドの識別を行い、必要に応じてデータを付け加えます。  
最後にETX(END OF TEXT = 03h)で終了します。
2. 新たに別のコマンドを送信する場合は、VTRからの応答を待ってから送信します。  
(83ページ参照)
3. ETXを送信する前に再度STXを送信すると、VTR側の内部受信データバッファはクリアされます。コマンドエラーをコントローラへ返信し、再度受信したSTXを先頭として、新たにデータ処理を行います。



# RS-232C インターフェイス

## 5. コマンド一覧

### (1) 動作制御( Operation )関連コマンド

< ノート >

- 返信(完了)メッセージは、データ受信時に [ ACK ] を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ ACK ] を返信後に ER001(無効コマンド) を返信します。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
STOP	[STX] OSP [ETX]	[STX] OSP [ETX]	テープ走行を停止するコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105(AUTO EE SEL)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
EJECT	[STX] OEJ [ETX]	[STX] OEJ [ETX]	カセットテープをイジェクトするコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105(AUTO EE SEL)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
PLAY	[STX] OPL [ETX]	[STX] OPL [ETX]	再生を開始するコマンドです。
REWIND	[STX] ORW [ETX]	[STX] ORW [ETX]	テープを巻き戻すコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105(AUTO EE SEL)の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニューNo.102(FF. REW MAX)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
FAST FORWARD	[STX] OFF [ETX]	[STX] OFF [ETX]	テープを早送りするコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105(AUTO EE SEL)の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニューNo.102(FF. REW MAX)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
REC	[STX] ORC [ETX]	[STX] ORC [ETX]	録画を開始するコマンドです。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
SHTL FORWARD	[STX] OSF:data [ETX]	[STX] OSF [ETX]	正方向シャトルのコマンドです。
	data = n: speed data 0: STILL 1: ×0.03 2: ×0.1 3: ×0.2 4: ×0.5 5: ×1 6: ×1.85 7: ×4.1 8: ×9.5 9: ×16 [本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。] A: ×32 [本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。]		
SHTL REVERSE	[STX] OSR:data [ETX]	[STX] OSR [ETX]	逆方向シャトルのコマンドです。
	data = n: speed data 0: STILL 1: ×0.03 2: ×0.1 3: ×0.2 4: ×0.5 5: ×1 6: ×1.85 7: ×4.1 8: ×9.5 9: ×16 [本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。] A: ×32 [本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。]		
STANDBY OFF	[STX] OBF [ETX]	[STX] OBF [ETX]	VTRをスタンバイOFFにするコマンドです。
STANDBY ON	[STX] OBN [ETX]	[STX] OBN [ETX]	VTRをスタンバイONにするコマンドです。

# RS-232C インターフェイス

## (2) 問い合わせ( Question )関連コマンド

< ノート >

- 返信(完了)メッセージは、データ受信時に [ACK] を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK] を返信後に ER001(無効コマンド) を返信します。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
CTL/TC DATA REQUEST	[STX] QCD [ETX]	[STX] CD data [ETX]	カウンター値を問い合わせるコマンドです。
		data = f w gh mm ss ff f = F w = S gh = CTL: g = SP (20h) : プラス時 - (2Dh) : マイナス時 h = 0 ~ 9 : 時 TC: gh = 00 ~ 23 : 時 mm = 00 ~ 59 : 分 ss = 00 ~ 59 : 秒 ff = 00 ~ 29 : フレーム(525モード) 00 ~ 24 : フレーム(625モード)	フロント表示モードに合わせてCTLかTCを返信します。
STATUS REQUEST	[STX] QOP [ETX]	[STX] xxx [ETX]	VTRの動作モードを問い合わせるコマンドです。
		xxx = OEJ: EJECT OFF: FAST FORWARD OPL: PLAY ORC: REC ORW: REWIND OSP: STOP (STANDBY ON含む) SRS: (IN/OUT) PREROLL OBF: STANDBY OFF OSF: SHTL FORWARD OSR: SHTL REVERSE OJG: JOG FORWARD/REVERSE OSW: VAR FORWARD/REVERSE EAE: AUTO EDIT EON: EDIT ON (MANUAL EDIT) EPV: PREVIEW ERV: REVIEW	
ID( 機器番号 ) REQUEST	[STX] QID [ETX]	[STX] data [ETX]	使用機器を問い合わせるコマンドです。
		data = AJ-D950, AJ-PD950	

---

### (3) Microsoft QuickBASIC サンプルプログラム

```
CLS
STX$ = CHR$(&H2): ETX$ = CHR$ (&H3): NAK$ = CHR$(15): ACK$ = CHR$(&H6)
PRINT "*** RS-232C COMMUNICATION SAMPLE PROGRAM ***"
PRINT "Type Command 'QUIT' to quit."
PRINT

REM *** Communication Port Initial & Open ***
REM Port 1,9600Bps,No parity,8 bit data,1 stop bit
OPEN "COM1:9600,N,8,1" FOR RANDOM AS #1 LEN = 256

REM *** Input Command & Send Command ***
SendCmd:
INPUT "Input Command ="; SEND$
IF SEND$ = "QUIT" THEN GOTO ProgEnd
PRINT #1, STX$ + SEND$ + ETX$

REM *** Wait for Receive Command ***
WHILE LOC(1) = 0
    WAITKEY$ = INKEY$
    IF WAITKEY$ = "Q" THEN PRINT "**** Quit ****": GOTO ProgEnd
WEND

REM *** Receive Command ***
RecvCmd:
RCV$ = INPUT$(1, #1)
IF RCV$ = STX$ THEN RCV$ = "[Stx]"
IF RCV$ = ACK$ THEN RCV$ = "[Ack]"
IF RCV$ = NAK$ THEN RCV$ = "[Nak]"
IF RCV$ = ETX$ THEN BUFFER$ = BUFFER$ + "[Etx]": GOTO DispOut
BUFFER$ = BUFFER$ + RCV$
GOTO RecvCmd

REM *** Output Receive Command ***
DispOut:
PRINT "Receive Command ="; BUFFER$
PRINT
BUFFER$ = ""
GOTO SendCmd

REM *** End Program ***
ProgEnd:
CLOSE
END
```

\*Microsoft QuickBASICはマイクロソフト社の商標です。

# コネクタの信号

## VIDEO IN

SERIAL IN (DIGITAL)	BNC × 2	アクティブスルー
Y、P <sub>B</sub> 、P <sub>R</sub> (ANALOG)	BNC × 3	(ボード オプション)
VIDEO IN	BNC × 2	ループスルー 75 終端スイッチ付 (ボード オプション)
REF VIDEO IN	BNC × 2	ループスルー 75 終端スイッチ付

## VIDEO OUT

SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 3
Y、P <sub>B</sub> 、P <sub>R</sub> (ANALOG)	BNC × 3 (ボード オプション)
VIDEO OUT	BNC × 3

## AUDIO IN

SERIAL IN (DIGITAL)	BNC × 2	アクティブスルー
AUDIO IN (DIGITAL)	XLR × 2	CH1/CH2、CH3/CH4 AES/EBU フォーマット
AUDIO IN (ANALOG)	XLR × 2	CH1、CH2、CH3、CH4
CUE IN	XLR × 1	
TIME CODE IN	XLR × 1	

ピンNo.	内 容
1	GND
2	HOT
3	COLD

## AUDIO OUT

SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 3	
AUDIO OUT (DIGITAL)	XLR × 2	CH1/CH2、CH3/CH4 AES/EBU フォーマット
AUDIO OUT (ANALOG)	XLR × 2	CH1、CH2、CH3、CH4
CUE OUT	XLR × 1	
TIME CODE OUT	XLR × 1	
MONITOR OUT	XLR × 2	L/R
HEADPHONES(フロント) M6		

## RS-422A REMOTE (9P)

### REMOTE IN/OUT

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND	4	RECEIVE COMMON	7	TRANSMIT B
2	TRANSMIT A	5		8	RECEIVE A
3	RECEIVE B	6	TRANSMIT COMMON	9	FRAME GROUND

### REMOTE OUT

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND	4	TRANSMIT COMMON	7	RECEIVE B
2	RECEIVE A	5		8	TRANSMIT A
3	TRANSMIT B	6	RECEIVE COMMON	9	FRAME GROUND



# コネクタの信号

## PARALLEL REMOTE (25P)

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	PLAY COMMAND	10		19	STNAD BY ON STATUS
2	STOP COMMAND	11		20	PREROLL STATUS
3	FF COMMAND	12	+10V以上、MAX 300mA	21	SERVO LOCK STATUS
4	REW COMMAND	13	PLAY STATUS	22	
5	REC COMMAND	14	STOP STATUS	23	
6	EJECT COMMAND	15	FF STATUS	24	
7	STAND BY ON/OFF COMMAND	16	REW STATUS	25	GND
8	PREROLL COMMAND	17	REC STATUS		
9	IN SET COMMAND	18	EJECT STATUS		

< ノート >

- COMMANDはTTLレベル、アクティブLOW エッジは100msec以上の電気信号を入力してください。
- STATUSはオープンコレクタ、シンク電流はMax.6mAで出力されます。

## RS-232C REMOTE (D-SUB 25 ピン、クロスケーブル対応)

ピンNo.	略号	回路名称	内容
1	FRANE GROUND	保安用接地	フレームグランド
2	RxD	受信データ	PCへデータを送信する
3	TxD	送信データ	PCからデータを受信する
4	CTS	送信可	5番ピンと短絡
5	RTS	送信要求	4番ピンと短絡
6	DTR	データ端末レディ	未処理
7	GND	信号用接地	信号用GND
20	DSR	データセットレディ	通信可能状態後正電力出力

## ENCODER REMOTE (15P)

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1		6	SYSTEM H 0	11	RET GND
2	SET UP	7	SYS. SC COARSE (2)	12	
3	C LEVEL	8	- 12V	13	
4	GND	9	HUE	14	SYS. SC FINE
5	+12V	10	VIDEO LEVEL	15	SYS. SC COARSE (1)

# 定 格

## [総合]

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	300 W (オプション未挿入時 230 W)

動作周囲温度	5 ~ 40
動作周囲湿度	10% ~ 90% (結露なし)
重量	19 kg
外形寸法	424(幅) × 175(高さ) × 415(奥行き) mm (セット足、ジャック、JOGダイヤルを除く)
記録フォーマット	DVCPRO 50/DVCPRO P*/DVCPRO 切換
記録ビデオ信号	525i/525p(4:2:0p)* / 625i 切換
記録オーディオ信号	DVCPRO 50/DVCPRO P* ; 48 kHz 16bit 4CH DVCPRO ; 48 kHz 16bit 2CH
記録トラック	デジタル・ビデオ・オーディオ ; ヘリカルトラック タイムコードはサブコード領域に記録 キュートラック ; 1トラック コントロールトラック ; 1トラック
テープ速度	67.640 mm/秒 (525) 67.708 mm/秒 (625)
記録時間	92分 (AJ-5P92LP 使用時) 33分 (AJ-5P33MP 使用時)
使用テープ	メタルテープ
早送り / 巻戻し時間	3分以内 (AJ-5P92LP 使用時) 2分以内 (AJ-5P33MP 使用時)
サーチ速度	± 32 倍速 (カラー)
デジタルスロー	プラス方向 : 0.75 倍速 マイナス方向 : - 0.43 倍速
編集精度	± 0 フレーム (タイムコード使用時)
テープタイマー精度	± 1 フレーム (連続CTL 信号使用時)
サーボロック時間	0.5 秒以内 (カラーフレミング / スタンバイ ON)
オーディオスリット編集	有り

## [ビデオ]

サンプリング周波数	DVCPRO 50 525i/625i : Y ; 13.5 MHz、P <sub>B</sub> /P <sub>R</sub> ; 6.75 MHz DVCPRO P 4:2:0p* : Y ; 27 MHz、P <sub>B</sub> /P <sub>R</sub> ; 13.5 MHz
量子化	8 bits
ビデオ圧縮方式	DCT + 可変長符号
ビデオ圧縮比率	DVCPRO 50 : 1/3.3 DVCPRO/DVCPRO P* : 1/5
エラー訂正	リードソロモンプロダクトコード
ビデオ記録ビットレート	DVCPRO 50/DVCPRO P* : 50 Mbps DVCPRO : 25 Mbps
サンプル × 有効ライン	DVCPRO/DVCPRO 50 (525i) : 720 × 487.5 / フレーム DVCPRO/DVCPRO 50 (625i) : 720 × 585 / フレーム DVCPRO P 4:2:0p* : 720 × 480 / フィールド
V ブランキングデータ	525i/625i : VITC 525i : Closed Caption

### デジタル入力-アナログコンポーネント出力ビデオ

映像帯域	525i : Y ; 30 Hz ~ 5.5 MHz (± 0.5 dB)、5.75 MHz (- 2.0 dB) P <sub>B</sub> /P <sub>R</sub> ; 30 Hz ~ 2.5 MHz (± 0.5 dB)、2.75 MHz (- 2.0 dB) 625i : Y ; 25 Hz ~ 5.5 MHz (± 0.5 dB)、5.75 MHz (- 2.0 dB) P <sub>B</sub> /P <sub>R</sub> ; 25 Hz ~ 2.5 MHz (± 0.5 dB)、2.75 MHz (- 2.0 dB)
S/N	60 dB 以上
K ファクター (2T)	1% 以下

### ビデオ入力端子

アナログコンポーネント入力 (オプション)	BNC × 3 (Y, P <sub>B</sub> , P <sub>R</sub> ) Y : 1.0 V <sub>p-p</sub> 、75 P <sub>B</sub> /P <sub>R</sub> : 0.525/0.757 V <sub>p-p</sub> 切換、75 (75% カラーバー、0% セットアップ)
アナログコンポジット入力 (オプション)	BNC × 2、ループスルー、75 ON/OFF 切換
リファレンス入力	アナログコンポジット、BNC × 2、75 ON/OFF 切換
シリアルコンポーネントデジタル入力	SMPTE259M-C、294M* 規格に準拠 BNC × 2、アクティブスルー
SDTI 入力 (オプション)	SMPTE305M 規格に準拠 BNC × 2、アクティブスルー

\*マークの箇所はAJ-PD950のみに適用されます。

ビデオ出力端子	
アナログコンポーネント出力 (オプション)	BNC × 3 (Y, P <sub>B</sub> , P <sub>R</sub> )、4:2:2/8:4:4* 切換 Y : 1.0 Vp-p、75 P <sub>B</sub> /P <sub>R</sub> : 0.525/0.757 Vp-p 切換、75 (75% カラーバー、0% セットアップ)
アナログコンポジット出力	BNC × 3、ビデオ 1、ビデオ 2、ビデオ 3 (スーパー ON/OFF)
シリアルデジタルコンポーネント出力	BNC × 3、SMPTE259M-C、294M* 規格に準拠 SDI 1、SDI 2、SDI 3 (スーパー ON/OFF)
SDTI 出力 (オプション)	BNC × 1、SMPTE305M 規格に準拠
ビデオ調整範囲	
コンポジットビデオ入力信号	± 3 dB
ビデオ出力ゲイン	± 3 dB
ビデオ出力クロマゲイン	± 3 dB
ビデオ出力クロマ位相	± 30°
ビデオ出力セットアップ	± 15 IRE
ビデオ出力シンク位相	± 8 μs
ビデオ出力 SC 位相	± 180°
<b>[オーディオ]</b>	
デジタルオーディオ	
サンプリング周波数	48 kHz (ビデオに同期)
量子化	16 bits
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz ± 1.0 dB (基準レベルにて)
ダイナミックレンジ	90 dB 以上 (1 kHz、エンファシス OFF)
歪率	0.05% 以下 (1 kHz、エンファシス OFF、基準レベル)
クロストーク	-80 dB 以下 (1 kHz、2 チャンネル間)
ワウフラッター	測定限界値以下
ヘッドルーム	525i/525p* : 20 dB 625i : 18 dB
エンファシス	T1=50 μs、T2=15 μs (ON/OFF 切換可能)
キュートラック	
周波数特性	300 Hz ~ 6 kHz ± 3 dB
オーディオ入力端子	
アナログ入力 (CH1xCH4)	XLR × 4、600 Ω/High インピーダンス (切換可)、+ 4/0/ - 20 dBu 切換可能
デジタル入力 (CH1/CH2、CH3/CH4)	XLR × 2、AES/EBU フォーマット
シリアルデジタル入力	SMPTE259M-C/272M 規格に準拠 (BNC×2、アクティブスルー)
キュートラック入力	XLR × 1、600 Ω/High インピーダンス (切換可)、+ 4/0/ - 20/ - 60 dBu 切換可能
オーディオ出力端子	
アナログ出力 (CH1xCH4)	XLR × 4、Low インピーダンス、+ 4/0/ - 20 dBu 切換可能
デジタル出力 (CH1/CH2、CH3/CH4)	XLR × 2、AES/EBU フォーマット
シリアルデジタル出力	SMPTE259M-C/272M 規格に準拠 (BNC × 1)
キュートラック出力	XLR × 1、Low インピーダンス、+ 4/0/ - 20 dBu 切換可能
モニター出力	XLR × 2、Low インピーダンス、+ 4/0/ - 20 dBu 切換可能
ヘッドホン出力	M6、8 Ω、レベル可変
<b>[その他入出力信号]</b>	
タイムコード入力	XLR × 1、0.5 ~ 8 Vp-p
タイムコード出力	XLR × 1、2.0 Vp-p
RS-422A 入力	D-sub 9pin、RS-422A インターフェース
RS-422A 出力	D-sub 9pin、RS-422A インターフェース
RS-232C	D-sub 25pin、RS-232C インターフェース
パラレル入出力	D-sub 25pin
エンコーダリモート	D-sub 15pin

\*マークの箇所はAJ-PD950のみに適用されます。